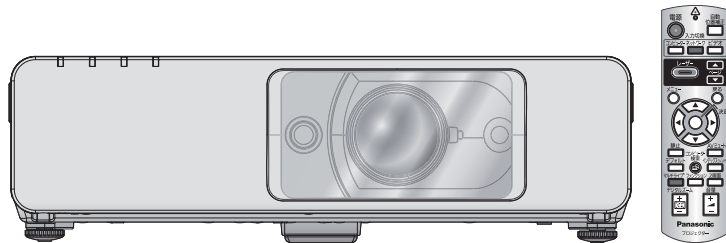


取扱説明書

液晶プロジェクター 業務用

品番 **PT-FW300NT**
PT-FW300



(イラスト：PT-FW300NT)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(4～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

■ 投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
(☞ 15 ページ)



2. 本機と外部機器を接続する
(☞ 19 ページ)



3. 電源コードを接続する
(☞ 21 ページ)



4. 電源を入れる
(☞ 23 ページ)



5. 投写する映像を選択する
(☞ 24 ページ)



6. 映像の映り具合を調整する
(☞ 24 ページ)

安全上のご注意

安全上のご注意	4
---------	---

はじめに

ご使用になる前に	8
運搬上の留意点	8
設置に関する留意点	8
セキュリティに関するお願い	8
使用上の留意点	9
付属品の確認	10
はじめにお読みください	11
各部の名称とはたらき	12
リモコン	12
本体	13

準備

設置する	15
投写画面サイズと設置位置	15
投写方式	16
アジャスター脚による投写角度調整	16
レンズシフト機能による設置位置変更	17
接続する	19
接続の前に	19
コンピューター入力端子の接続(例)	19
Sビデオ/ビデオ入力端子の接続(例)	20
DVI-D入力端子の接続(例)	20

基本的な使い方

電源を入れる / 切る	21
電源コードを接続する	21
電源モニターについて	22
電源を入れる	23
電源を切る	23
投写する	24
投写する映像を選択する	24
映像の映り具合を調整する	24
リモコンで操作する	25
映像を一時的に静止させる	25
映像・音声を一時的に消す	25
入力信号を切り換える	25
表示位置を自動補正する	26
出荷状態に戻す	26
音量を調整する	26
インデックスウィンドウで表示する	26
2画面で表示する	27
映像を拡大する	27
レーザーポインターを使う	28
ファンクションボタンを使用する	28

調整と設定

オンスクリーンメニューについて.....	29
メニュー画面の操作方法.....	29
オンスクリーンメニュー.....	30
メインメニュー.....	30
サブメニュー.....	30
「映像調整」メニューについて.....	32
映像モード.....	32
コントラスト.....	32
明るさ.....	32
色の濃さ.....	32
色あい.....	32
シャープネス.....	32
ホワイトバランス.....	32
色温度設定.....	32
デイライトビュー.....	33
デジタルシネマリアリティ.....	33
ノイズリダクション.....	33
TV システム.....	33
RGB/YPbPr.....	33
「位置調整」メニューについて.....	34
台形補正.....	34
シフト.....	34
シフト垂直.....	34
ドットクロック.....	34
クロックフェーズ.....	34
オーバースキャン.....	34
アスペクト.....	35
フレームロック.....	36
「表示言語」メニューについて.....	36
「表示オプション」メニューについて.....	37
オンスクリーン表示.....	37
DVI-D IN.....	37
スクリーン設定.....	38
スタートアップロゴ.....	38
自動位置補正.....	39
入力検出.....	39
バックカラー.....	39
ワイドモード.....	39
SXGA モード.....	39
その他の機能.....	39
「プロジェクター設定」メニューについて.....	40
ステータス.....	40
COMPUTER2 入出力選択.....	40
無信号自動オフ.....	40
起動方法.....	40
設置方法.....	40
高地モード.....	41
エミュレート.....	41

ファンクションボタン.....	41
音声設定.....	42
テストパターン.....	42
全設定初期化.....	42
フィルター残量リセット.....	42

「セキュリティ」メニューについて.....	43
パスワード設定.....	43
パスワード変更.....	43
テキスト設定.....	43
テキスト変更.....	43
メニューロック.....	44
メニューロックパスワード.....	44
操作設定.....	44
「ネットワーク」メニューについて.....	45

点検とお手入れ

ランプ / 温度 / フィルターモニター.....	46
モニターが点灯したら.....	46
お手入れ.....	47
お手入れの前に.....	47
お手入れ.....	47
部品交換.....	48
部品交換の前に.....	48
部品交換.....	48
ACF ユニットの交換手順.....	48
ランプユニットの交換手順.....	50
修理を依頼される前に.....	51
天つり金具取り付け時の注意事項.....	52
取り付け時の留意点.....	52

その他

付録.....	53
対応信号リスト.....	53
シリアル端子について.....	54
リモート端子について.....	55
DVI-D 端子について.....	56
2画面表示組合わせ一覧表.....	56
メニューロックパスワードについて.....	56
投写画面サイズ (アスペクト 16 : 9 の場合).....	57
投写画面サイズ (アスペクト 4 : 3 の場合).....	57
仕様.....	58
保証とアフターサービス.....	60
用語について.....	61
さくいん.....	62
外形寸法図.....	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。

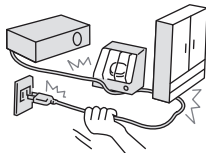


警告

■ 電源コード・プラグを破損するようなことはしない



禁止



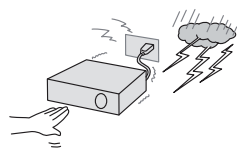
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグに触れない



接触禁止



感電の原因となります。

■ 付属の電源コード以外は使用しない



禁止

感電の原因となります。

■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



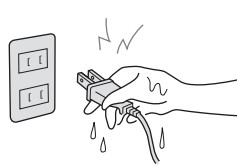
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止



感電の原因となります。

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因となります。

- 販売店にご依頼ください。

警告

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- コンセントを本機の近くに取り付ける



異常のまま使うと、火災・感電の原因となります。

- 異常の際に、電源プラグをすぐに抜けるようにしてください。

- 水などの液体をかけたり、ぬらしたりしない



禁止



ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

- 機器の上に、水などの液体の入った容器を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

- 使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと、目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

- 異物を入れない



禁止



ショートにより火災・感電の原因となります。

- 内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

- 分解したり、改造したりしない



分解禁止



内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

警告	
高圧注意	
サービスマン以外の方はケースをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり万一さわると危険です。	

〔本体に表示した事項〕

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

- 天井取り付け(天つり)などの設置工事は、専門の技術者あるいは購入店に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

- 当社で指定した天つり金具を使用する



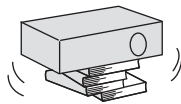
天つり金具に不備があると、事故の原因となります。

- 付属のワイヤーで落下防止の処理を行ってください。

- 荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止

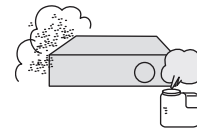


強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止



火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下する恐れがあります。

警告

■ カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しない



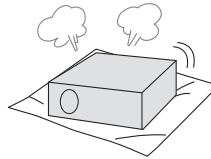
禁止

内部に熱がこもり本機の故障、火災ややけどの原因となることがあります。

■ 放熱を妨げない



禁止



内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

- 布や紙などの上に置かないでください。吸気孔に吸着する場合があります。
- 押し入れ、本棚など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

■ 電池は誤った使い方をしない



禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない。
- +と-を針金などで接続しない。
- 金属製ネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない。
- +と-を逆に入れない。
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない。
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。
- 被覆のはがれた電池は使わない。電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。
- アルカリ乾電池またはマンガン乾電池以外は使用しないでください。

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり、熱に弱いものを置いたりすると、やけどや変形の原因となります。

- 排気孔の前方 50 cm 以内には物を置かないでください。

■ 電池の液がもれたときは、素手でさわらないでください



禁止

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるのできれいな水で洗ったあと医師にご相談ください。

■ ランプユニット交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

電源プラグを抜かないで交換作業を行うと、感電や破裂の原因となります。

■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから (1 時間以上待って) 行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

■ ランプユニットを分解しない



禁止

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

■ 使い切った電池は、すぐにリモコンから出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

■ リモコンを子供に使用させたり、レーザー光をのぞきこんだり、人に向けたりしない



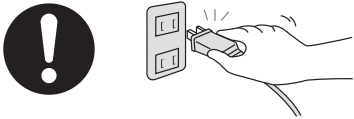
禁止

リモコンより発射されるレーザー光を、直接目に当てますと、視力低下などの原因になることがあります。

- 使用後はお子様が触らないように、手の届かないところに置いてください。

注意

- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 長時間で使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く



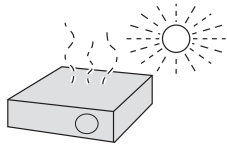
電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因となることがあります。なお、本体の主電源「入」状態で、リモコンで電源「切」にした場合、約 3.0 W の電力を消費しています。

- 異常に温度が高くなるところに置かない



禁止



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、熱機器の近くでは特にご注意ください。

- 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す

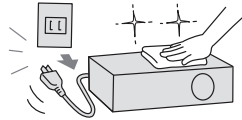


電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因となることがあります。

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



感電の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 古いランプユニットは使用しない



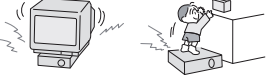
禁止

ランプユニットは消耗部品です。使用時間を超えたランプユニットは使用しないでください。破裂する場合があります。

- 本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



禁止



バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。

- お手入れの際に、化学ぞうきん、台所用洗剤、溶剤を使用しない



禁止

外装ケースが変質、変形する恐れがあります。

- ランプが破裂したときは、触ったり、顔を近づけたりしない



禁止

散乱したガラス片でけがをしたり、破裂により発生したガス（蛍光灯程度の水銀を含有）を吸い込んでしまったりする恐れがあります。

- 直ちに換気を行ってください。
- 万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

- 1年に1度は、内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

ご使用になる前に

運搬上の留意点

- 運搬の際は、必ず前面扉を閉めてください。
- 投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬の際は特にご注意ください。
- 運搬の際は、本機の底面を持つようにしてください。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損する恐れがあります。

設置に関する留意点

■ 屋外に設置しないでください

- 本機は、室内でご使用ください。

■ 以下の場所には設置しないでください

- 振動や衝撃が加わる場所：内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- エアコンの吹き出し口や照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなど、温度変化が激しい場所（使用環境条件 ㊦ 59 ページ）：ランプの寿命などに影響を及ぼす恐れがあり、熱により本体が変形し、故障の原因となることがあります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■ 本機を天井に取り付ける場合は、必ず専門の技術者、または販売店にご依頼ください（㊦ 52 ページ）

別売りの天つり金具が必要です。品番：ET-PKF100H（高天井用）、ET-PKF100S（低天井用）

■ 海拔 1400 m 以上でご使用の際は、「高地モード」を「オン」に設定してください（㊦ 11、41 ページ）

「高地モード」を「オン」に設定しないと、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。また、故障の原因になる場合があります。

■ 海拔 2700 m 以上の場所に設置しないでください

■ 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください（㊦ 15 ページ）

上下方向に± 30 度をこえて傾けた状態で使用すると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。（㊦ 43 ページ）

- パスワードは出来るだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがありましても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどにより、安全性の確保されたネットワークでご使用ください。
- パスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

使用上の留意点

■美しい映像をご覧いただくために

スクリーン面に外光や照明などの光が当たらないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。

■投写レンズ、前面扉のガラス部分は素手でさわらないでください

指紋や汚れがつくと、スクリーンに汚れが映ります。また本機を使用しないときは必ず前面扉を閉めてください。

■液晶パネルについて

本機には映像表示部品として3枚の液晶パネルを使用しています。液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合はテストパターン (P.42 ページ) の中にある全白画面を1時間以上投写してください。

■光学部品について

液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。また、ご使用になる環境温度が高い場合や、ホコリ、油煙、たばこなどの煙が多い環境下では、1年未満のご使用でも、交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには下記の特徴があります。

- 使用時間にとまらぬ、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などにより大きな音で破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に12時間以上の連続使用や、頻繁な電源の「入」「切」の繰り返しは、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。
(■ランプユニットの交換時期 P.49 ページ / ■ランプユニットの交換手順 P.50 ページ)
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万が一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。

■廃棄について

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

注意

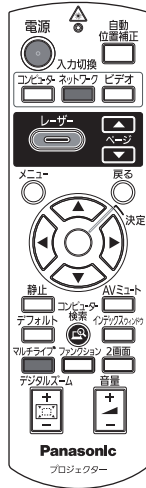
コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードとシールドされた市販のケーブルを使用してください。

ご使用になる前に (つづき)

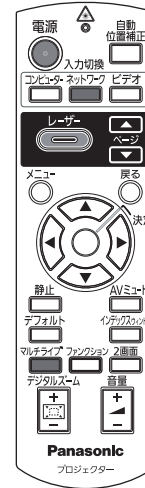
付属品の確認

下記の付属品が入っていることを確認してください。

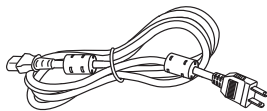
リモコン：1 個
(N2QAYB000306) …PT-FW300NT 用



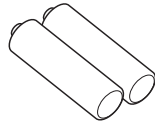
リモコン：1 個
(N2QAYB000368) …PT-FW300 用



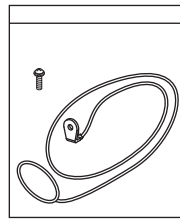
電源コード (2 m) :
1 本
(K2CA2DH00014)



リモコン用単 3 形乾電池 :
2 個

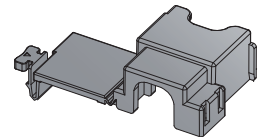


天つり用落下防止具
(TTRA0141)

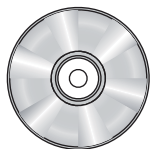


ワイヤーロープ：1 本
取り付けねじ：1 本

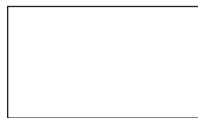
電源コード抜け防止カバー :
1 個 (TTRA0184)



CD-ROM :
1 枚 (TQBH9012)



無線国内注意ラベル :
1 枚 (TQFC926-1)



(PT-FW300NT のみ)

お願い：

- 電源コードキャップおよび包装材料は、商品を取り出したあと適切に処理してください。
- 付属品を紛失してしまった場合は、販売店にご相談ください。

はじめにお読みください

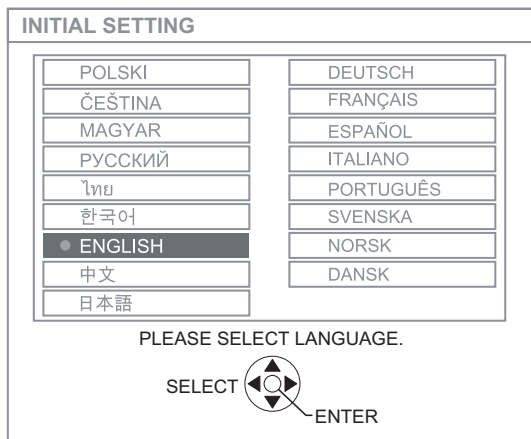
本機をご購入後、初めて電源を入れたとき、および「全設定初期化」(P.42 ページ) を実行した場合、「初期設定」のメニュー画面が表示されます。ご使用になる場合や状況に応じて設定してください。

それ以外の場合でも、メニュー操作で設定を変更できます。

■ 初期設定 (表示言語)

オンスクリーンに表示させる言語を選択してください。(P.36 ページ)

1) ▲▼◀▶ ボタンで表示言語を選ぶ



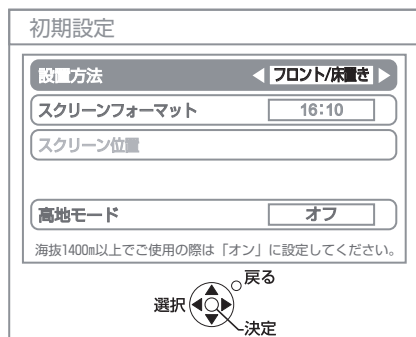
2) 「決定」ボタンを押し、次の初期設定を定行います

■ 初期設定 (本体設定)

「設置方法」、「スクリーンフォーマット」、「スクリーン位置」、「高地モード」で項目内の選択をしてください。

1) ▲▼ ボタンで項目を選ぶ

2) ◀▶ ボタンで設定を切り換える



● 設置方法 (P.16、40 ページ)

フロント/床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント/天つり	スクリーン前方にある天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合
リア/床置き	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) にある机の上などに設置する場合
リア/天つり	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) に天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合

● スクリーンフォーマット (P.38 ページ)

16:10	16:10 あるいは 4:3 のスクリーンを使用して設置する場合
16:9	16:9 のスクリーンを使用して設置する場合

● スクリーン位置 (P.38 ページ)

※ 「スクリーンフォーマット」を「16:9」に設定したときのみ選択が可能です。

下	投写画面の下部に表示
中央	投写画面の中央部に表示
上	投写画面の上部に表示

● 高地モード (P.8、41 ページ)

オフ	通常的环境下で使用する場合
オン	高地 (海拔 1400 m 以上) で使用する場合

3) 「決定」ボタンを押すと設定が終了します

お知らせ:

- 「初期設定 (本体設定)」メニューで「戻る」ボタンを押すと、「初期設定 (表示言語)」メニューに戻ることができます。

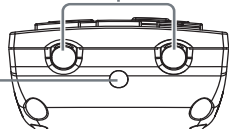
各部の名称とはたらき

リモコン

■ 天面

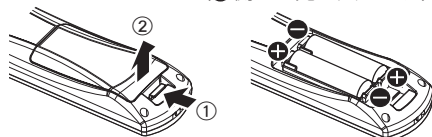
リモコン発信部

レーザー光発射口
([P.28](#) ページ)



リモコンの電池の入れかた

ふたを開ける 電池を入れ、ふたを閉める
(●側から先に入れます)



■ 正面

リモコン操作表示ランプ
「レーザー」ボタンを押している間は点灯します
それ以外のボタンを押している間は点滅します

本体の主電源「オン」状態で電源を「入」「切」する
([P.23](#) ページ)

投写する入力信号を切り換える
([P.25](#) ページ)

レーザー光を発射する
([P.28](#) ページ)

メニューを表示する
([P.30](#) ページ)

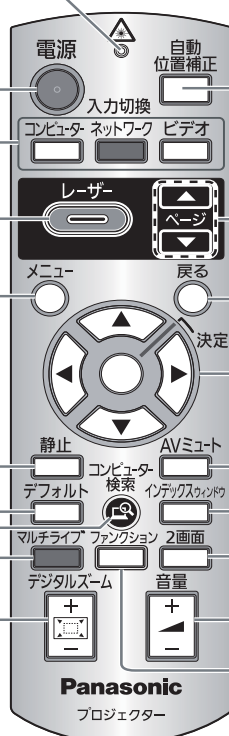
映像を一時的に静止させる
([P.25](#) ページ)

サブメニューの設定内容を工場出荷状態に戻す
([P.26](#)、[P.29](#) ページ)

ネットワーク接続可能なコンピューターを検索する
付属のCD-ROMをご覧ください
(PT-FW300NTのみ)

ネットワーク入力信号を選択時に使用する
付属のCD-ROMをご覧ください

映像を拡大する
([P.27](#) ページ)



コンピューター信号を入力時に映像を投写しながらこのボタンを押すと、「シフト」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正する
([P.26](#) ページ)

ネットワーク入力信号を選択時に使用する
付属のCD-ROMをご覧ください

メニュー画面操作に使用する
([P.29](#) ページ)

映像と音声を一時的に消す
([P.25](#) ページ)

静止画像と動画を2画面表示する
([P.26](#) ページ)

異なる映像を2画面表示する
([P.27](#) ページ)

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整する
([P.26](#) ページ)

よく使う操作を割り当てショートカットボタンとして使用する
([P.28](#) ページ)

お願い：

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコンの電池には、種類の違うものや、新・旧を一緒にしないで、アルカリ乾電池またはマンガン乾電池をご使用ください。
- リモコンにストラップを取り付けた場合、ストラップを持って振り回さないでください。
- リモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- リモコンのレーザー使用時に、レーザー光発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射したりしないでください。レーザー光を直視すると、視力低下などの原因となることがありますので、ご注意ください。

お知らせ：

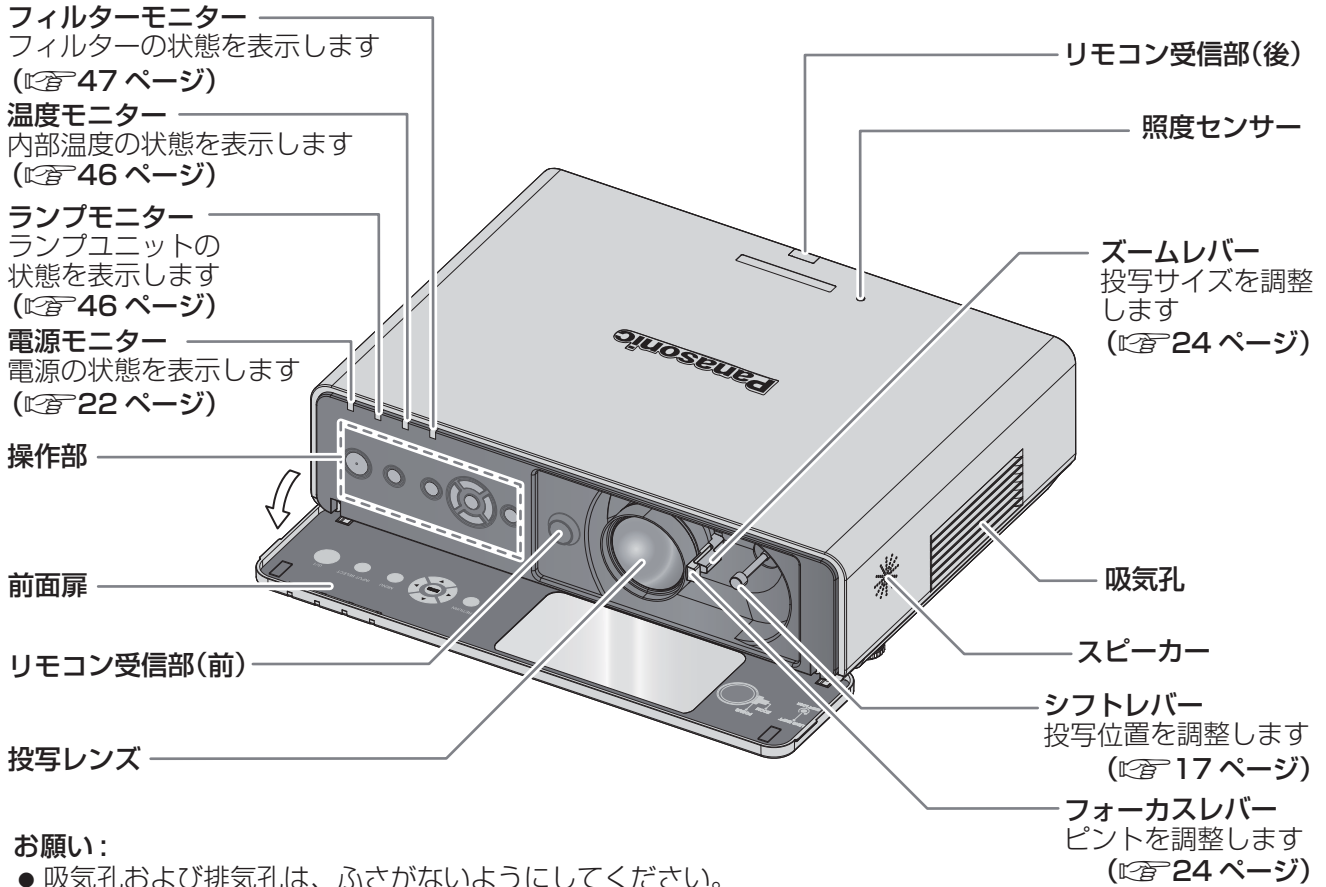
- リモコンを直接本機のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 15m 以内で操作してください。また、上下左右に± 30 度まで操作可能です。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
リモコンからの信号をスクリーンに反射させて、本機を操作することができますが、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲に制限がでる場合があります。



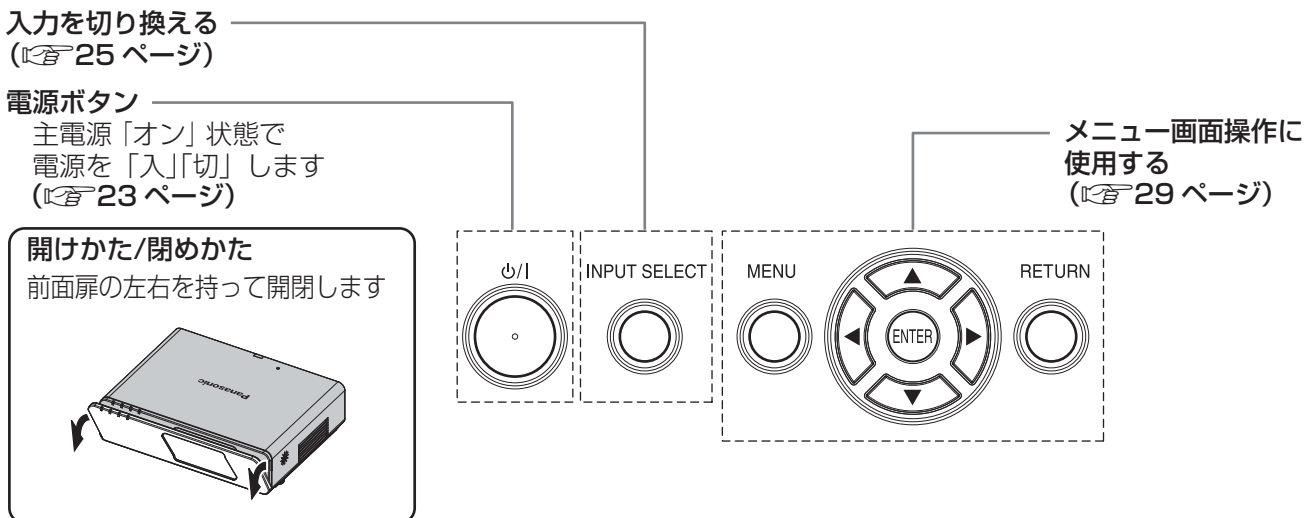
ご使用状況に合わせてストラップを取り付けることができます

本体

■ 前面・上面・右側面



■ 操作部



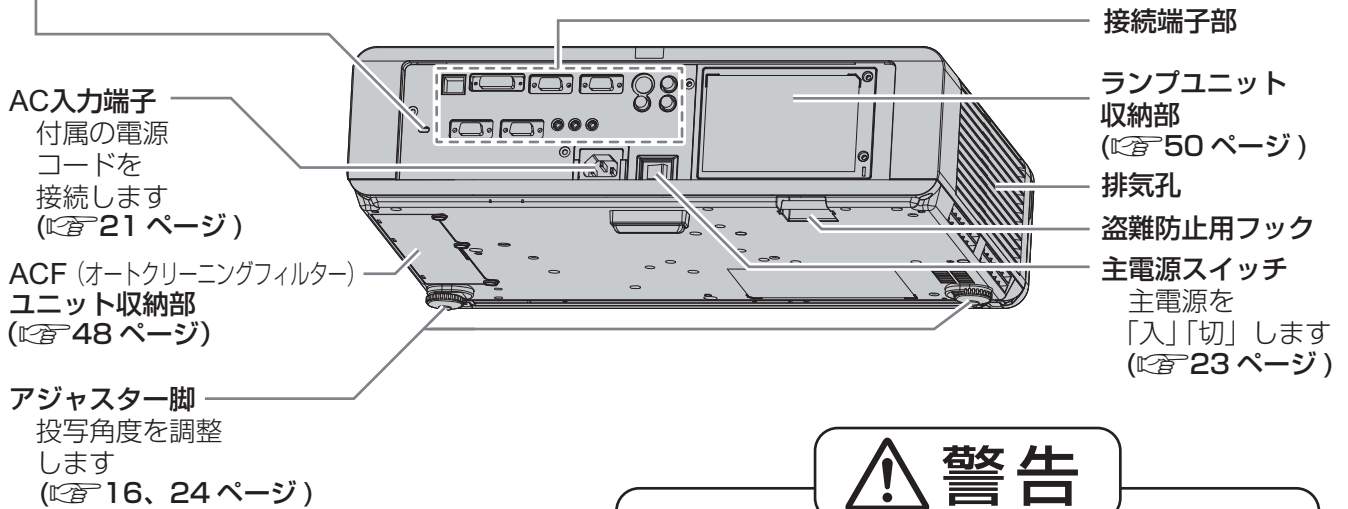
各部の名称とはたらき (つづき)

■後面・底面・左側面

セキュリティスロット

このセキュリティスロットは、Kensington社製セキュリティケーブルに対応しています。Kensington社製セキュリティケーブルについてのお問い合わせ先は、右の通りです。

七陽商事株式会社 情報機器事業部
〒103-0007
東京都中央区日本橋浜町2-55-7 ナナヨウビル
Tel : 03-3663-7740
Fax : 03-3669-2367
http://www.nanayojapan.co.jp/
※連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。



お願い：

- 付属品以外の電源コードは接続しないでください。
- 吸気孔および排気孔はふさがないようにしてください。

警告

■排気孔には手や物を近づけない



排気孔からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり、熱に弱いものを置いたりすると、やけどや変形の原因となります。

禁止

- 排気孔の前方 50 cm以内には物を置かないでください。

■接続端子部

コンピューター1入力端子

コンピューターまたはコンポーネント(YPBPR)からの信号を入力する端子です
(☞ 19 ページ)

DVI-D入力端子

DVI-D信号を入力する端子です
(☞ 20 ページ)

LAN 端子

ネットワーク接続する端子です
(☞ 19 ページ)

シリアル入力端子

コンピューターで本機を制御する端子です
(☞ 54 ページ)

リモート入力端子

外部制御回路を使用して遠隔操作する端子です
(☞ 55 ページ)

コンピューター1・2/コンポーネント/DVI-D用音声入力端子
(☞ 19 ページ)

コンピューター2入力/1出力端子

コンピューターまたはコンポーネント(YPBPR)からの信号を入出力する端子です
(☞ 19 ページ)

Sビデオ/ビデオ映像入力端子

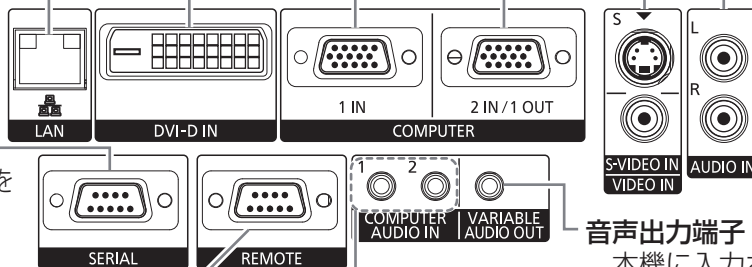
Sビデオ/ビデオ信号を入力する端子です
(☞ 20 ページ)

音声入力端子

音声信号を入力する端子です
(☞ 19、20 ページ)

音声出力端子

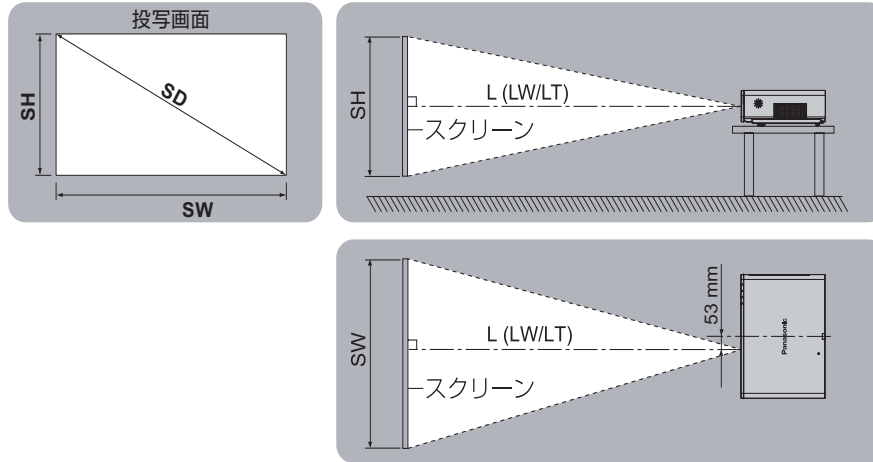
本機に入力された音声信号を出力します。この端子に接続すると、内蔵スピーカーからは音声はできません
(☞ 19、20 ページ)



設置する

投写画面サイズと設置位置

本機は、2.0倍ズームレンズの採用により、投写画面サイズの調整ができます。投写する画面サイズと投写距離を確認し、設置位置を決定してください。



(下記の表の寸法は若干の誤差があります。)

投写画面サイズ (アスペクト 16 : 10 の場合)			投写距離 (L)	
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
33 インチ (0.84 m)	0.44 m	0.71 m	—	1.8 m
40 インチ (1.02 m)	0.54 m	0.86 m	1.1 m	2.3 m
50 インチ (1.27 m)	0.67 m	1.08 m	1.4 m	2.8 m
60 インチ (1.52 m)	0.81 m	1.29 m	1.7 m	3.4 m
70 インチ (1.78 m)	0.94 m	1.51 m	2.0 m	4.0 m
80 インチ (2.03 m)	1.08 m	1.72 m	2.3 m	4.6 m
90 インチ (2.29 m)	1.21 m	1.94 m	2.6 m	5.1 m
100 インチ (2.54 m)	1.35 m	2.15 m	2.9 m	5.7 m
120 インチ (3.05 m)	1.62 m	2.58 m	3.4 m	6.9 m
150 インチ (3.81 m)	2.02 m	3.23 m	4.3 m	8.6 m
200 インチ (5.08 m)	2.69 m	4.31 m	5.7 m	11.5 m
250 インチ (6.35 m)	3.37 m	5.38 m	7.2 m	14.3 m
300 インチ (7.62 m)	4.04 m	6.46 m	8.6 m	17.2 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD (型) より下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値は、若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とすると、

$$\begin{aligned} \text{投写画面サイズ 高さ (SH)} &= \text{SD} \times 0.0135 \\ \text{投写画面サイズ 幅 (SW)} &= \text{SD} \times 0.0215 \\ \text{最短投写距離 (LW)} &= 0.0289 \times \text{SD} - 0.046 \\ \text{最長投写距離 (LT)} &= 0.0576 \times \text{SD} - 0.061 \end{aligned}$$

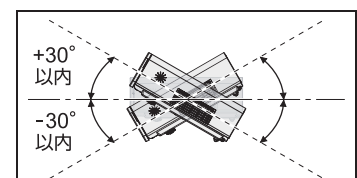
お知らせ:

- 投写画像サイズが 16 : 9 と 4 : 3 の場合、寸法は「投写画像サイズ (アスペクト 16 : 9 の場合) (P57 ページ)」と、「投写画像サイズ (アスペクト 4 : 3 の場合) (P57 ページ)」をご覧ください。

お願い:

- 美しい映像をご覧いただくために、スクリーンを外光や照明などの光ができるだけ直接当たらない場所に設置してください。また、カーテンやブラインドなどを閉め、照明を消すなどしてください。
- 本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください。故障の原因となります。

本機を傾けて設置する場合は、上下方向に ± 30 度以内にしてください。本機を上下方向に ± 30 度をこえて傾けた状態で使用されると、部品の寿命などに影響を及ぼす恐れがあります。

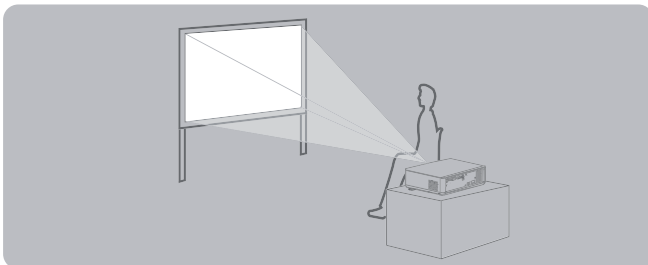


設置する(つづき)

投写方式

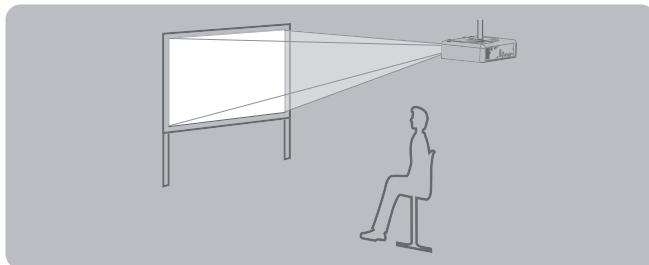
本機は、4通りの投写方式が選択できます。設置場所に応じた投写方式を選択してください。
投写方式の設定は、「プロジェクター設定」メニューの「設置方法」をご覧ください。(P.40ページ)

■ 床置きで前方に投写する場合



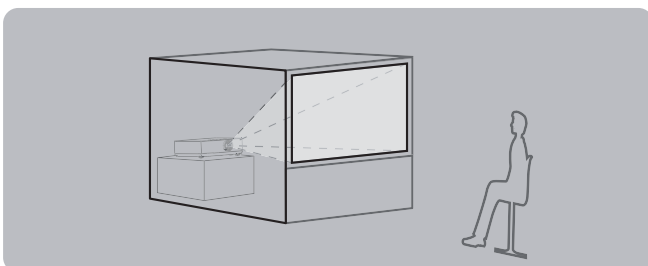
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 床置き

■ 天つり設置で前方に投写する場合



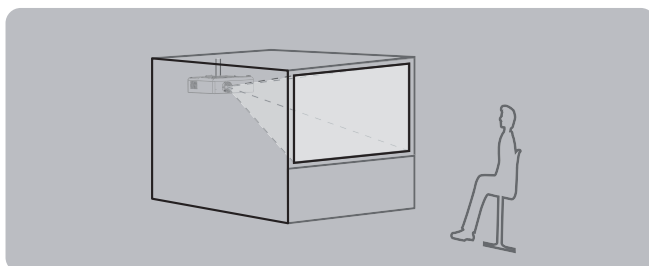
メニュー項目	設定値
設置方法	フロント / 天つり

■ 床置きで後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 床置き

■ 天つり設置で後方から投写する場合 (透過式スクリーン使用)



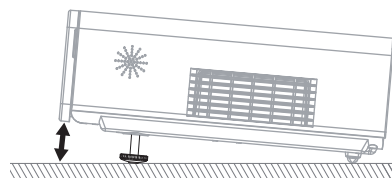
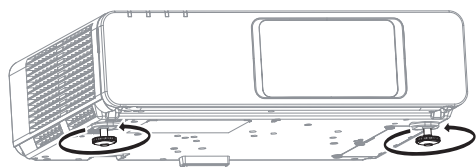
メニュー項目	設定値
設置方法	リア / 天つり

お知らせ:

- 天つり設置には、別売りの天つり金具が必要です。
品番：ET-PKF100H (高天井用)、ET-PKF100S (低天井用)

アジャスター脚による投写角度調整

図のように、アジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すともとに戻すことができます。
(上下に投写角度を調整することができます。)



お願い:

- ランプ点灯中は排気孔から熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気孔に直接手を触れないでください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「台形補正」を行ってください。(P.34ページ)

お知らせ:

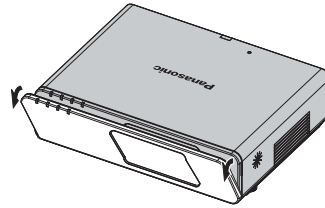
- アジャスター脚を締め付け方向に回してカチッと音がしたら、締め付けが完了します。

レンズシフト機能による設置位置変更

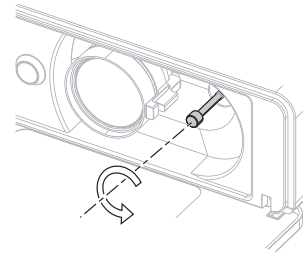
本機をスクリーン正面に設置できない場合は、レンズシフト機能を使い、投写画面がスクリーン位置に合うように調整してください。

■ レンズシフトの調整方法

1) 本体前面扉を開ける



2) シフトレバーを図の方向 (反時計回り) に回し、固定を解除する

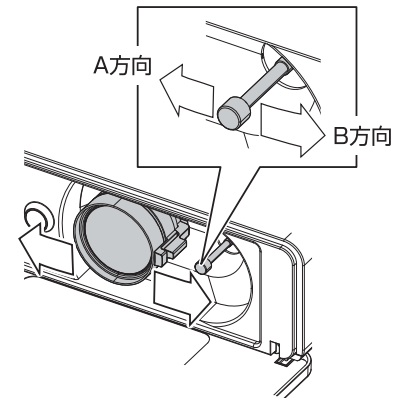
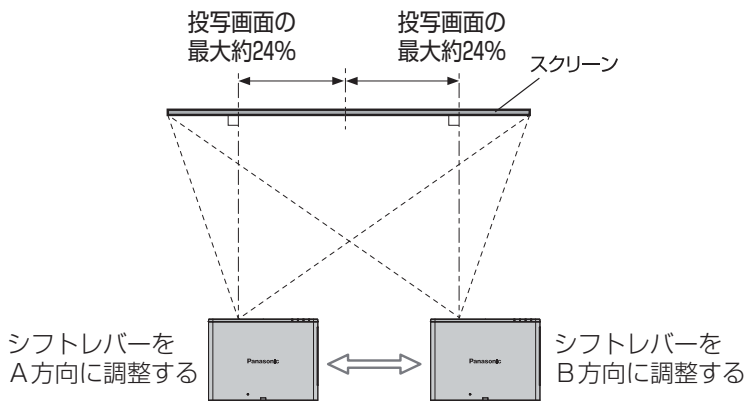


3) シフトレバーを動かし調整する

レバーを使って投写位置を調整します。
(下図は床置きで前面に投写している場合の例)

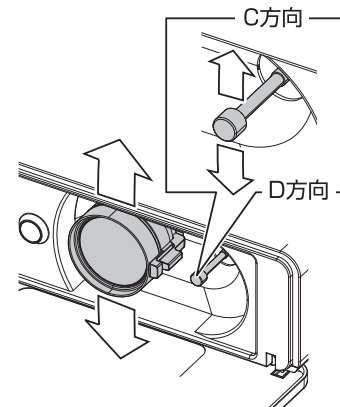
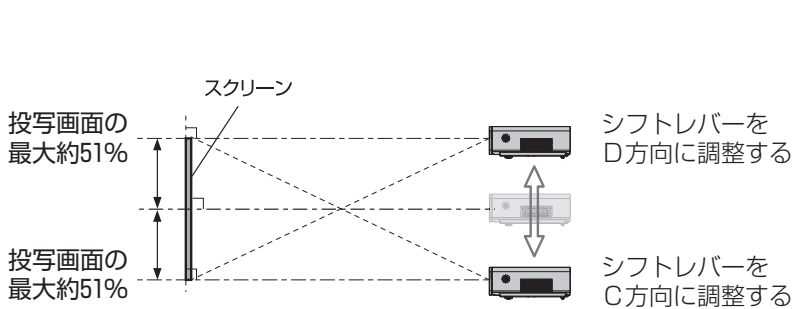
● 水平位置を変更する

スクリーンと本機の設置位置に合わせて、シフトレバーを左右に調整してください。

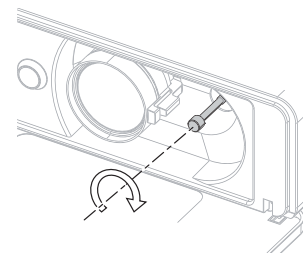


● 垂直位置を変更する

スクリーンと本機の設置位置に合わせて、シフトレバーを上下に調整してください。



4) シフトレバーを図の方向 (時計回り) に回し、固定する



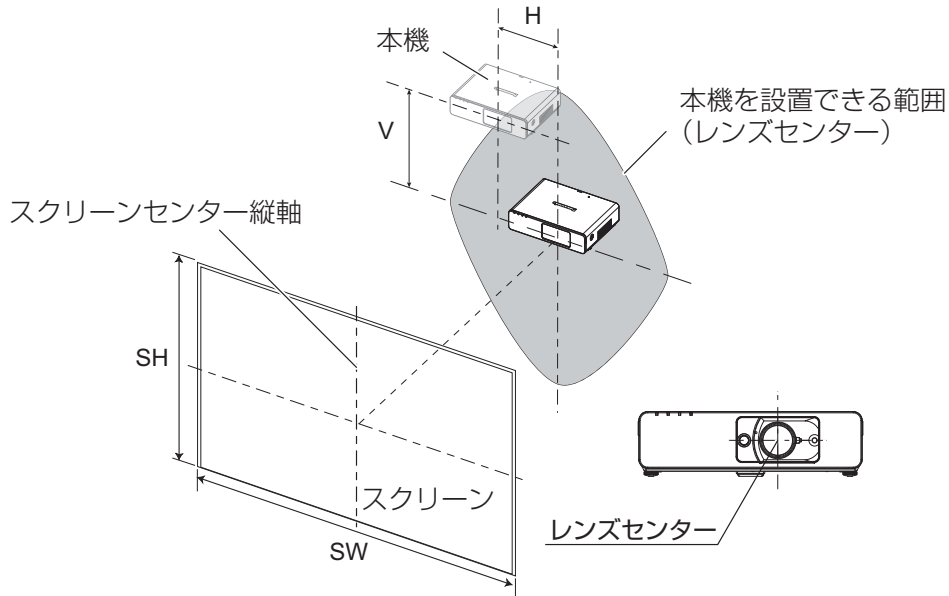
5) 本体前面扉を閉める

■ レンズシフト機能による調整範囲

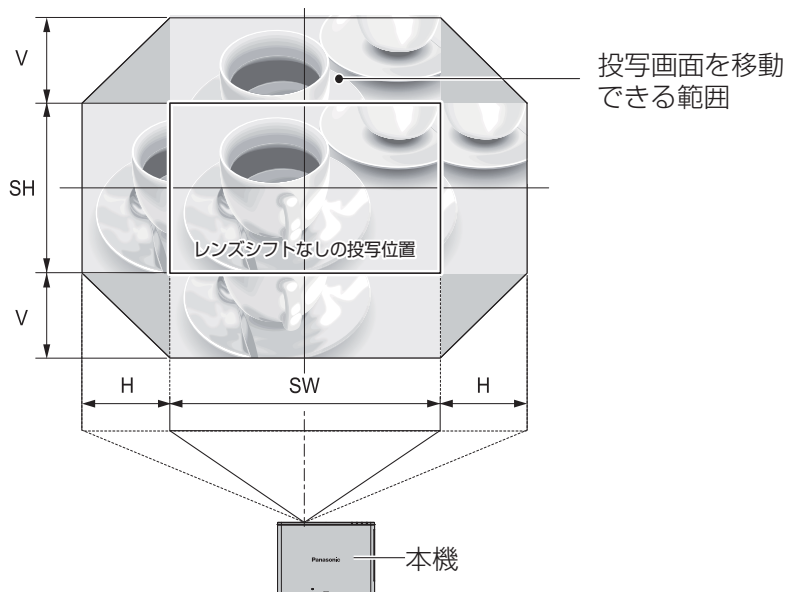
下記の範囲で設置位置を調整できます。

投写画面の高さ (SH)、幅 (SW) の調整については、「投写画面サイズと設置位置」をご覧ください。
(P.15 ページ)

- スクリーンを基準としたときの、本機を設置できる範囲



- 本体を基準としたときの、投写画面を移動できる範囲 (16:10 の場合)



シフト方向	調整できる最大範囲
水平方向 (H)	投写画面幅 (SW) の左右 約 24 %
垂直方向 (V)	投写画面高さ (SH) の上下 約 51 %

お知らせ:

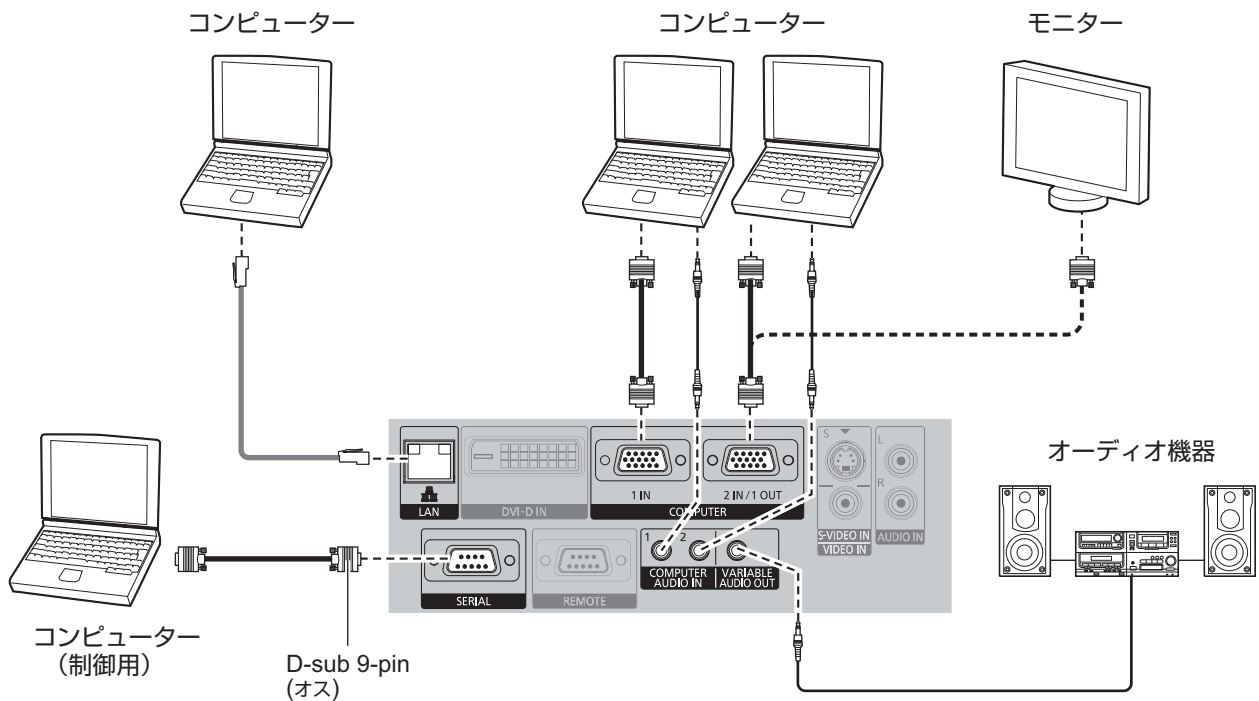
- 本機をスクリーン正面に設置し、シフトレバーを中央部に調整すると、最良の画面が得られます。
- 右または左へ最大にレンズシフトしたときは、上下には最大までレンズシフトできません。
同様に、上または下へ最大にレンズシフトしたときは、左右には最大までレンズシフトできません。
- 本機を前または後ろに傾け、台形補正を使用して設置するときは、レンズセンターとスクリーンセンター縦軸を合わせてください。

接続する

接続の前に

- 接続の際は、各機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてから接続を行ってください。
- 接続に必要なケーブルは、接続する機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースにジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 本機と接続できる映像信号については、「対応信号リスト」をご覧ください。(P.53 ページ)

コンピューター入力端子の接続 (例)



準備

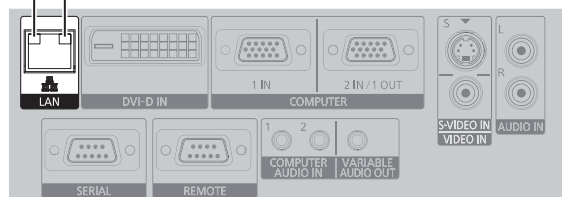
お知らせ:

- 本機とコンピューターとの有線 LAN、ワイヤレス通信については、付属の CD-ROM をご覧ください。
- 「プロジェクター設定」メニューで「COMPUTER 2 入出力選択」(P.40 ページ) を「出力」に設定しているときは、COMPUTER 2 IN/1 OUT 端子に信号を入力しないでください。
- YPBPR 信号入力時はコンピューター入力端子をお使いください。

■ ネットワーク機器の各部の名称と働き

LINKランプ(黄色)
10 Base-T/100 Base-TX
接続時に点灯します。

ACTランプ(緑色)
データ送受信時に点滅します。

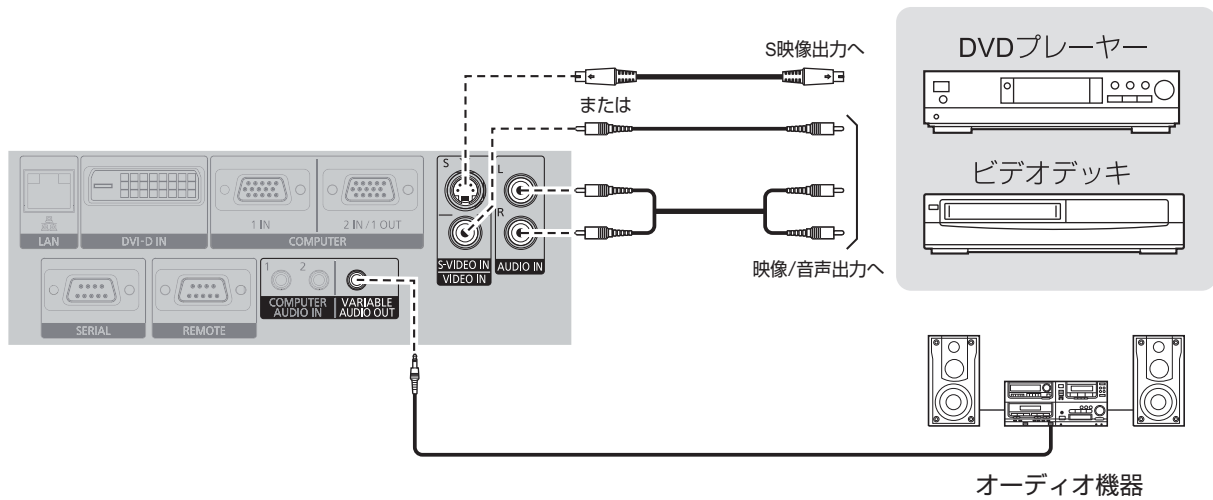


お願い:

- 静電気を帯びた手(体)で LAN 端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。LAN 端子および LAN ケーブルの金具部に触れないようにしてください。

接続する (つづき)

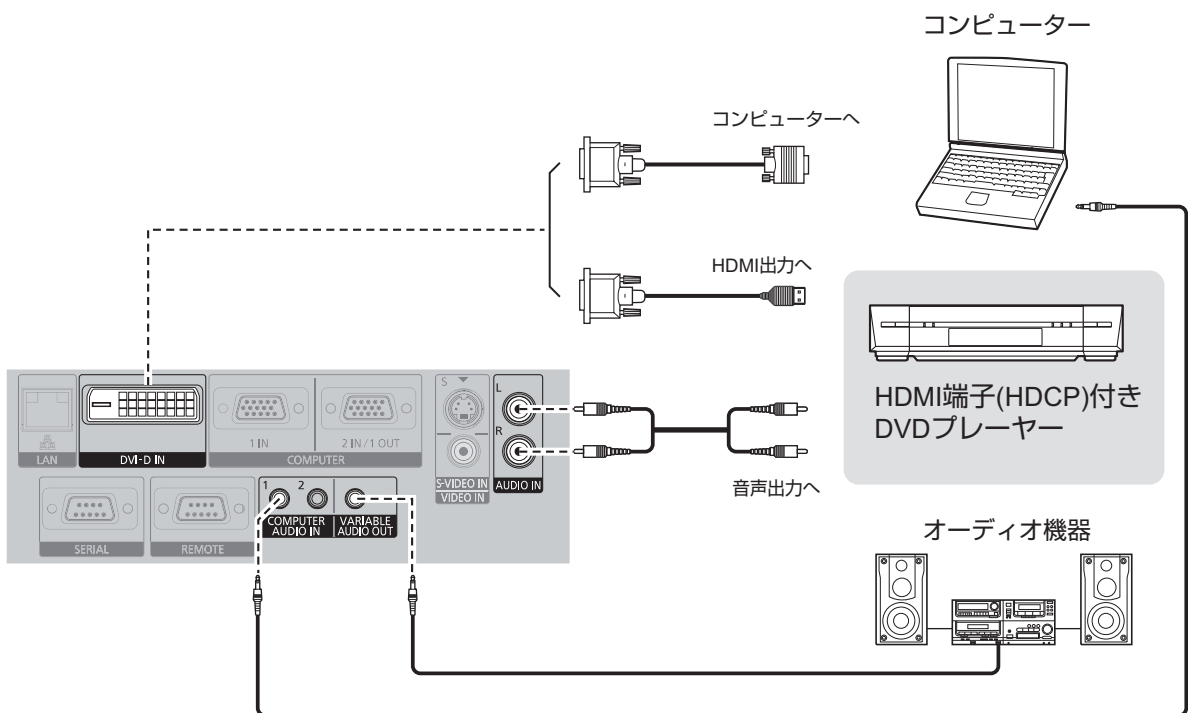
S ビデオ / ビデオ入力端子の接続 (例)



お知らせ:

- Sビデオ / ビデオ用音声入力端子は、1系統です。複数の機器を接続する場合は、差し換えてご使用ください。

DVI-D 入力端子の接続 (例)



お知らせ:

- DVI-D 入力端子はシングルリンクのみ対応しています。
- HDMI 対応の機器を接続する場合は、HDMI - DVI-D 変換ケーブルが必要です。
- DVI-D 入力時は、接続する機器によって EDID 設定が必要です。(P.37 ページ)
- DVI-D 入力端子は HDMI および DVI-D 対応機器との接続ができますが、一部の機器では映像が出ないなど、正常に動作しない場合があります。
- DVI-D 音声入力時は、「COMPUTER AUDIO IN 2」もしくは「AUDIO IN」への入力となります。(P.42 ページ)

電源を入れる / 切る

電源コードを接続する

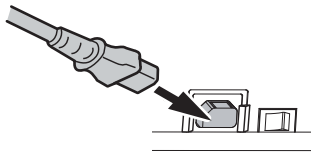
電源コードの抜けを防止するため、付属の「電源コード抜け防止カバー」で電源コードと本体を必ず固定してください。

付属の電源コードを使用し、根元まで確実に差し込んでください。

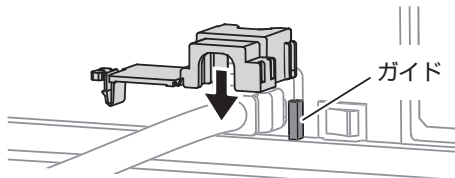
詳しい取り扱いについては「安全上のご注意」をご覧ください。(P.4～7ページ)

■ 取り付け方

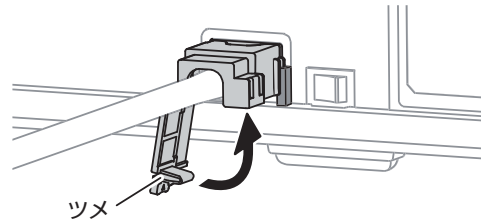
- (1) 本機後面の AC 入力端子部 (AC IN ~) と電源コードのコネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込む



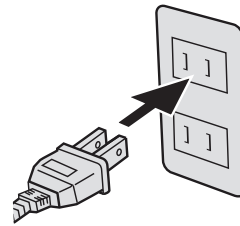
- (2) 本機 AC 入力端子部の上からガイドに沿って、「電源コード抜け防止カバー」を取り付ける



- (3) 「電源コード抜け防止カバー」のツメがカチッと音がするまで押し込み、取り付ける



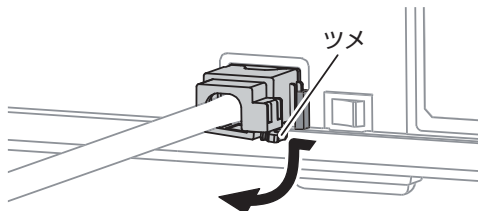
- (4) 電源プラグをコンセントに差し込む



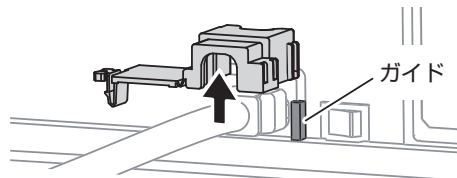
■ 取り外し方

- (1) 本機後面の主電源スイッチ (MAIN POWER) が「オフ」(OFF) になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

- (2) 「電源コード抜け防止カバー」のツメを押し下げて外す



- (3) 「電源コード抜け防止カバー」を本機 AC 入力端子部のガイドに沿って上に取り外す



- (4) 本機の AC 入力端子部 (AC IN ~) から電源コードのコネクタを抜く

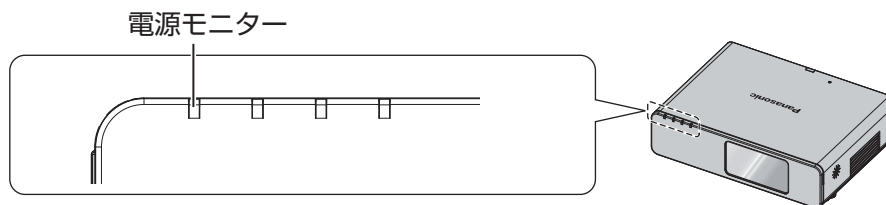
■ ダイレクトパワーオフ機能

本機は、映像を投写中に電源プラグを抜いたり、主電源スイッチを「オフ」にしても、内部電源により冷却ファンが回転し、ランプの冷却を行います。

電源を入れる / 切る (つづき)

電源モニターについて

電源の状態を表示します。「電源モニター」の状態をよく確認し、操作してください。



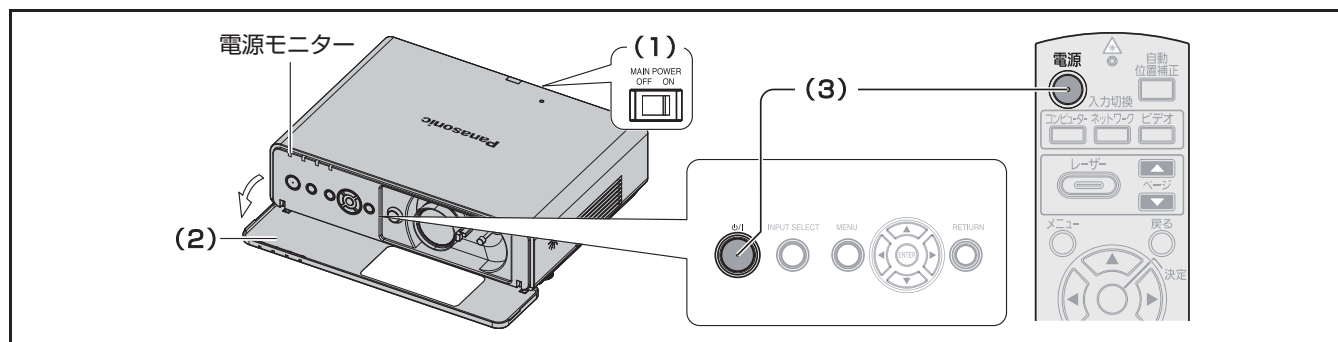
点灯状況		本機の状態
消灯		主電源オフ状態
赤色	点灯	電源オフ状態 (スタンバイ状態) 電源ボタンを押すと投写を開始します ※ランプ、温度モニター点滅時は動作しません (P.46 ページ)
	点滅	電源オフ状態 (「ネットワークスタンバイ」設定が「オン」または、「音声設定」メニューの「スタンバイ時動作」設定が「オン」の場合) 電源ボタンを押すと投写を開始します ※ランプ、温度モニター点滅時は動作しません (P.46 ページ)
緑色	点滅	投写準備状態 しばらくすると映像を投写します
	点灯	投写状態 (ON)
オレンジ色	点灯	電源オフ準備状態 しばらくすると電源オフ状態 (スタンバイまたは、ネットワークスタンバイ状態) になります
	点滅	電源オフ準備状態中に電源ボタンを押した状態 しばらくすると映像を投写します

お知らせ:

- 電源オフ準備状態 (「電源モニター」がオレンジ色に点灯) は、内部ファンが回転し、本機を冷却中です。
- 電源オフ準備状態時に、電源ボタンを押したときは、投写状態になるまで時間がかかる場合があります。
- 電源オフ状態 (「電源モニター」が赤色に点灯) でも、約 3.0 W の電力を消費しています。

電源を入れる

電源を入れる前に機器の接続を確認してください。(☞19、20 ページ)



(1) 主電源スイッチを「オン」(ON)にする

「電源モニター」が赤色に点灯します。

(2) 前面扉を開ける

(リモコンで操作する場合は、前面扉を開ける必要はありません。)

(3) 電源ボタンを押す

「電源モニター」が緑色に点滅し、しばらくすると点灯に変わり、「スタートアップロゴ」が投写されます。

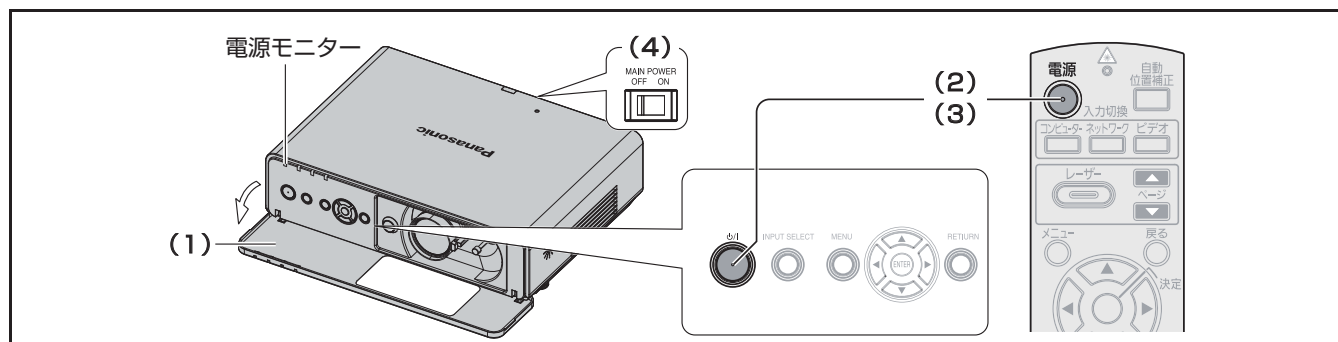
「スタートアップロゴ」については「表示オプション」メニューの「スタートアップロゴ」をご覧ください。(☞38 ページ)

お知らせ:

- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。
- 映像投写中は、冷却ファンが回転し、動作音がします。また、外気温によっては動作音が変わることがあり、ランプ点灯時には、動作音が大きくなります。
- 主電源スイッチが「オン」の状態ですべての「プロジェクター設定」メニューの「起動方法」を「オンスタート」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むだけで投写を開始します。(☞40 ページ)
- ランプ消灯直後に再び点灯を行った場合、ランプの特性上、投写開始後少しの間、映像がチラつく場合がありますが、これは故障ではありません。

電源を切る

電源モニターの状態をよく確認し、操作してください。(☞22 ページ)



(1) 前面扉を開ける

(リモコンで操作する場合は、前面扉を開ける必要はありません。)

(2) 電源ボタンを押す

画面に電源オフ確認画面が表示されます。

- 電源ボタン以外のボタンを押すか、約 10 秒たつと「電源オフ」確認画面が消えます。

(3) もう一度電源ボタンを押す

ランプが消え映像の投写が停止します。

(冷却ファンは回転したままで、「電源モニター」がオレンジ色に点灯します。「電源モニター」が赤色に点灯するまでお待ちください。)

(4) 主電源スイッチを「オフ」(OFF)にする

投写する

外部機器の接続 (☞ 19、20 ページ)、電源コードの接続 (☞ 21 ページ) を確認し、電源を入れる (☞ 23 ページ) と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

投写する映像を選択する

1) 接続機器の電源を入れる

DVD プレーヤーなど、接続機器の再生を行ってください。「表示オプション」メニューの「**入力検出**」が「オン」の場合は、本機の電源を入れたとき、自動的に入力中の信号を検出し投写します。(☞ 39 ページ)

2) 映像の入力を切り換える

「入力切換」ボタンで選択した映像が投写されます。(☞ 25 ページ)

お願い:

- 接続機器や再生する DVD、ビデオテープなどによっては、「映像調整」メニューの「TV システム」を設定してください。(☞ 33 ページ)
- 投写するスクリーンと映像のアスペクト比を確認し、最適なアスペクト比に切り換えてください。(☞ 35 ページ)

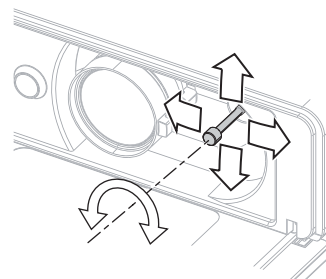
映像の映り具合を調整する

1) 本体前面扉を開ける

調整終了後は、本体前面扉を閉めてください。

2) レンズシフトを調整する

「レンズシフトレバー」で投写位置を調整します。

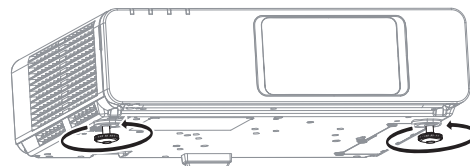


- 詳しくは「レンズシフト機能による設置位置変更」をご覧ください。(☞ 17 ページ)

3) 投写角度を調整する

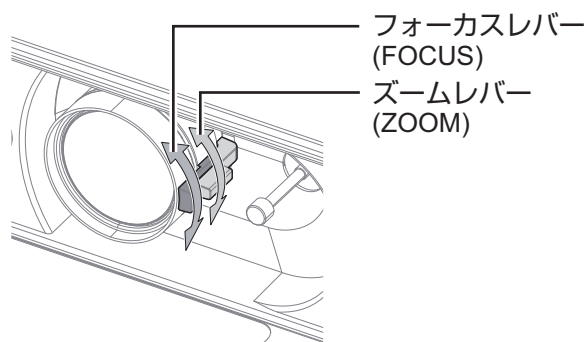
アジャスター脚を伸ばし、さらに上方向に投写角度を調整できます。

- 詳しくは「アジャスター脚による投写角度調整」をご覧ください。(☞ 16 ページ)



4) ズームとフォーカスで調整する

「ズームレバー」と「フォーカスレバー」を動かして調整します。



お知らせ:

- 「フォーカスレバー」を動かすと投写サイズが変わるため「ズームレバー」を動かして、再度投写サイズを微調整します。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「**台形補正**」を行ってください。(☞ 34 ページ)

リモコンで操作する



■ ネットワーク

ネットワーク を押す



NETWORK	有線 LAN、無線 LAN* を使ってコンピューターから「Wireless Manager」で送信する信号 (☞ 45 ページ)
---------	------------------------------------------------------------------

*PT-FW300NT のみ

■ ビデオ

ビデオ を押す



ボタンを押すごとに切り換わります。

S-VIDEO	S ビデオ入力端子に接続した信号
VIDEO	ビデオ入力端子に接続した信号

映像を一時的に静止させる

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させ、音声を消すことができます。

静止 を押す



もう一度押すと解除されます。

映像・音声を一時的に消す

一定時間、本機を使用しない場合に、映像と音声を消すことができます。

AVミュート を押す



もう一度押すと解除されます。

入力信号を切り換える

投写する入力信号を切り換えることができます。

■ コンピューター

コンピューター を押す



ボタンを押すごとに入力信号が切り換わります。

COMPUTER1	コンピューター1 入力端子に接続した信号
COMPUTER2	コンピューター2 入力端子に接続した信号
DVI	DVI-D 端子に接続した信号

「表示オプション」メニューの「オンスクリーン表示」内で「入力ガイド」を「詳細表示」(☞ 37 ページ) にしているとき、画面右上部に入力端子のグラフィックが表示され、選択中の入力端子を確認できます。(選択中の入力端子は黄色で強調されます。)

このとき ▲▼◀▶ ボタンでも入力を切り換えることができます。

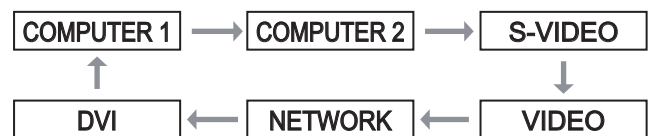
入力切り換え操作をしてから、映像が切り換わるまで、時間がかかる場合があります。

お願い：

- 「対応信号リスト」に記載している信号を入力してください。(☞ 53 ページ)

お知らせ：

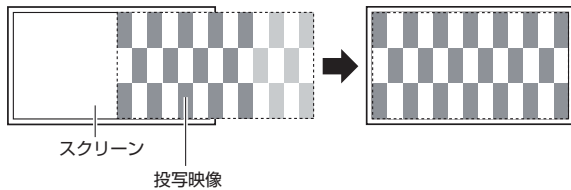
- 「プロジェクター設定」メニューの「COMPUTER 2 入出力選択」を「出力」に設定しているときは、COMPUTER 2 入力を選択することはできません。(☞ 40 ページ)
- 入力端子については「接続する」をご覧ください。(☞ 19、20 ページ)
- 操作をしないと入力ガイドの表示は自動的に消えます。
- 本体操作部で「INPUT SELECT」ボタンを押すと、下記の順に切り換わります。(☞ 13 ページ)



リモコンで操作する(つづき)

表示位置を自動補正する

コンピューター信号入力時は「シフト」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」を自動補正することができます。



お知らせ:

- DVI 信号入力時は「シフト」のみ自動補正されます。
- 無信号時は入力検出が動作します。「入力検出」を「オン」に設定時 (P.39 ページ)
- ドットクロック 150MHz を超える信号入力時は、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」は自動設定されません。(P.34 ページ)
- 画面の端がわからないような信号や、暗い画面を入力して「自動補正」を動作させると、自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画面に切り換えてから、もう一度「自動位置補正」ボタンを押してください。

出荷状態に戻す

サブメニューの設定・調整の値を工場出荷状態に戻します。



- 詳しくは、「オンスクリーンメニューについて」の「メニュー画面の操作方法」内の「調整値を工場出荷時の状態に戻す」をご覧ください。(P.29 ページ)

音量を調整する

内蔵スピーカーまたは、音声出力の音量を調整できます。



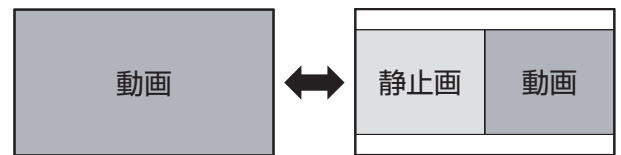
- + ボタン……音量を大きくする
- - ボタン……音量を小さくする

インデックスウィンドウで表示する

投写中の画面をメモリーに記録し、静止画と動画を2画面表示できます。



「戻る」ボタンを押すと解除されます。インデックスウィンドウを押したときの画面が静止画になります。



インデックスウィンドウ表示中のボタン機能

<p>▲▼ ボタンで画面サイズを設定する (2段階に切り換えることができます。)</p>	<p>◀▶ ボタンで左右の静止画と動画を入れ換える</p>
--------------------------------------------------	-------------------------------

お知らせ:

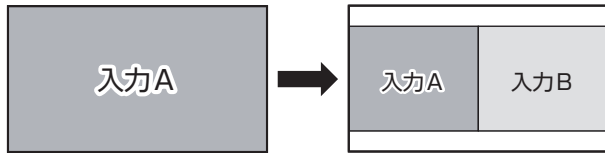
- 画面サイズのアスペクト比が変わり、映像が通常より縦長になります。
- 画面サイズを切り換えると、映像のアスペクト比が変わります。(P.35 ページ)
- 「決定」ボタンで静止画が更新されます。
- 動きの早い映像の場合、静止画像が乱れることがあります。
- アスペクトを「等倍」にした場合、信号によって画面イメージのような縦長映像にできない場合があります。

2画面で表示する

異なる2つの入力信号を、同時に表示できます。

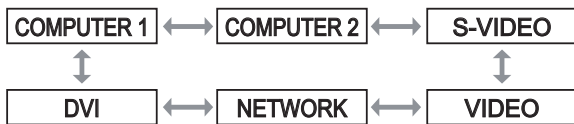


「戻る」ボタンを押すと解除されます。



■ 2画面表示中のボタン機能

画面左 (入力 A) 側に対して、画面右 (入力 B) 側に ▲▼ ボタンで、表示させたい映像を選択する



お知らせ:

- 2画面表示中に、再度「2画面」ボタンを押すか、「メニュー」、「コンピューター」、「ネットワーク」、「ビデオ」ボタンのいずれかを押しても解除できません。
- 「静止」、「音量」は入力 A 側に対して設定されます。
- 2画面表示中は「自動位置補正」、「インデックスウィンドウ」、「デジタルズーム」機能は使えません。
- 2画面表示中は、メニュー項目の調整・設定はできません。
- 「映像調整」の設定は、入力 A 側の値が適用されます。(「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」については、入力 A、B それぞれの値が適用されます。)
- コンピューター信号とネットワーク信号以外は、アスペクトメニューで選択したアスペクト比を保持したまま2画面表示します。
- 入力信号の組み合わせによっては、2画面表示ができない場合があります。
詳しくは「2画面表示組み合わせ一覧表」(P.56 ページ)をご覧ください。

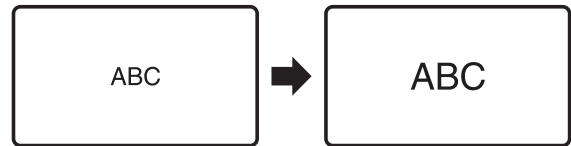
映像を拡大する

入力画面の中心を 1.5 倍に拡大表示できます。また、拡大部分を移動することができます。

デジタルズーム

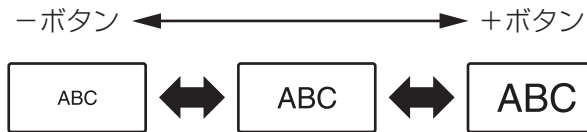


「戻る」ボタンを押すと解除されます。

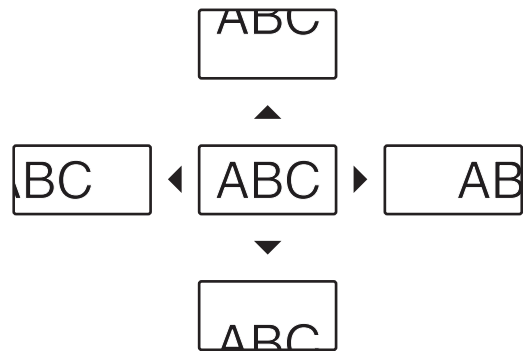


■ デジタルズーム中のボタン機能

+ ボタン……倍率を上げる
- ボタン……倍率を下げる



▲▼ ボタン…上または下へ表示位置が移動する
◀▶ ボタン…左または右へ表示位置が移動する



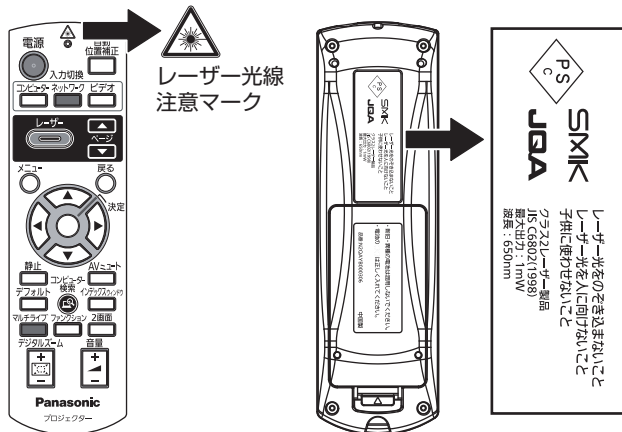
お知らせ:

- 倍率は、1.0 倍から 2.0 倍まで 0.1 ごとに調整できます。また、コンピューター信号入力時に「位置調整」メニューの「フレームロック」が「オフ」の場合は 1.0 倍から 3.0 倍まで、「オン」の場合は 1.0 倍から 2.0 倍まで調整できます。(P.36 ページ)
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。
- デジタルズーム中に「静止」はできません。

リモコンで操作する(つづき)

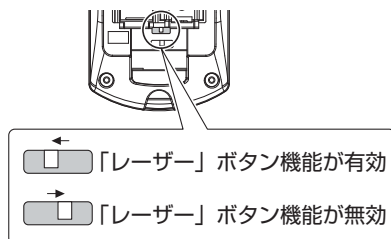
レーザーポインターを使う

「レーザー」ボタン機能が有効の場合、「レーザー」ボタンを押している間、リモコンから発射されるレーザー光をスクリーンに当てることにより、ポインターとして使用することができます。



●「レーザー」ボタン機能 有効 / 無効の切り換え

リモコンの電池ぶたを開け、下図の場所にレーザー出力スイッチの切り換えがあります。



お知らせ:

- 無効設定後、メニューを出していない時にレーザーポインターを使用すると「レーザーポインターは無効です。」とスクリーンに表示されます。



警告

■ リモコンを子供に使用させたり、レーザー光をのぞきこんだり、人に向けたりしない

お願い:

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は、しないでください。

ファンクションボタンを使用する

よく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用できます。



●「ファンクション」ボタンに割り当て可能な操作

無効	割り当てない
アスペクト	映像の縦横比(アスペクト比)を切り換える
映像モード	映像モードを切り換える
デイライトビュー	デイライトビューのモードを切り換える

お知らせ:

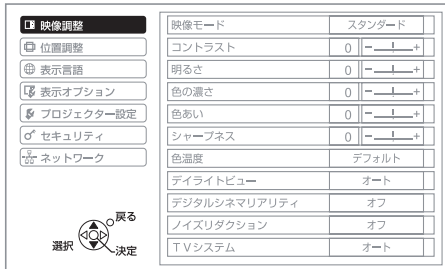
- 「ファンクション」ボタンに操作を割り当てるには、「プロジェクト設定」メニューの「ファンクションボタン」をご覧ください。(P.41 ページ)

オンスクリーンメニューについて

メニュー画面の操作方法

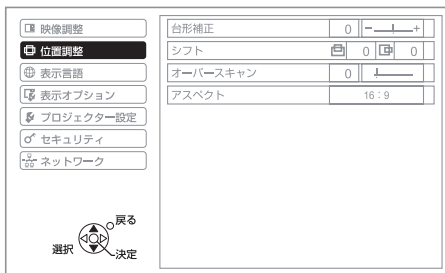
■ 操作の手順

- 1) 「メニュー」ボタンを押す
メインメニューが表示されます。



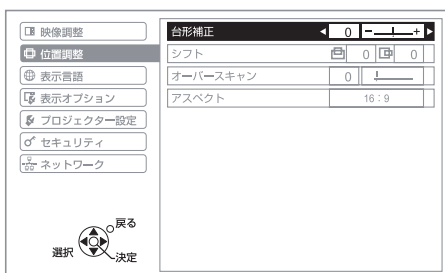
- 2) ▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選ぶ

「映像調整」、「位置調整」、「表示言語」、「表示オプション」、「プロジェクター設定」、「セキュリティ」、「ネットワーク」の7つの項目から、調整したい項目を選んでください。選択中の項目はオレンジ色のカーソルで表示され、選択した項目のサブメニューが右側に表示されます。



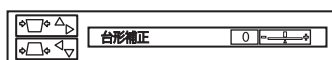
- 3) 「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示され、サブメニューの項目が選択できるようになります。



- 4) ▲▼ ボタンを押して変更したいサブメニューの項目を選び、◀▶ を押して設定の切り換えや調整を行う

設定を切り換える項目とバースケールのある項目では、メニュー画面が消え、下図のように選択中の項目（個別調整画面）のみが表示されます。



項目名のみ表示は、「決定」ボタンを押すと次の画面が表示され、詳細な設定ができます。

お知らせ：

- メニュー画面を表示中、「戻る」ボタンまたは、「メニュー」ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
- 入力される信号によって、調整できない項目や使用できない機能があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 約5秒間何も操作しないと、個別調整画面は自動で消えます。
- サブメニューの項目については30、31ページをご覧ください。

■ 調整値を工場出荷時の状態に戻す

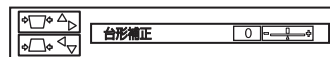
リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、「メニュー」項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。

デフォルト を押す



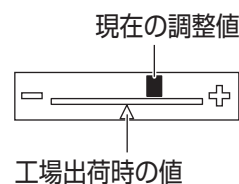
表示されている画面によって動作が異なります。

- サブメニュー画面表示時：
表示されているサブメニューの項目が工場出荷時の状態に戻ります。
- 個別調整画面表示時：
調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻ります。



お知らせ：

- 全ての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。「メニュー」項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、「プロジェクター設定」メニューの「全設定初期化」をご覧ください。(P.42ページ)
- 「デフォルト」ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。
- 個別調整画面のバースケールの下三角マークは、工場出荷時の値を示しています。また、三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。



オンスクリーンメニューについて (つづき)

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニュー操作については、「メニュー画面の操作方法」をご覧ください。(P.29 ページ)

オンスクリーンメニュー

メニュー
 を押す




オンスクリーンメニューが表示されます。オンスクリーンメニューは、メインメニューとサブメニューで構成されています。



操作ガイド 現在の設定値
 各メニューの操作方法が表示されます。

メインメニュー

メインメニューには以下の7つの項目があります。メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

	映像調整
	位置調整
	表示言語
	表示オプション
	プロジェクター設定
	セキュリティ
	ネットワーク

サブメニュー

選択したメインメニューのサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

■ 映像調整 []

- Sビデオ/ビデオ/RGB(動画)/YPbPr/DVI(動画) 入力時*1

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	スタンダード	32
コントラスト	0	32
明るさ	0	32
色の濃さ	0	32
色あい	0	32
シャープネス	0	32
色温度設定	デフォルト	32
デイライトビュー	オート	33
デジタルシネマリアリティ	オン	33
ノイズリダクション*2	オフ	33
TVシステム*2	オート	33
RGB/YPbPr*3	オート	33

*1:RGB/DVIの動画入力は、480i,576i(RGBのみ), 480p,576p,1080/60i,1080/50i, 1080/60p,1080/50p,720/60p,720/50p 信号入力時に有効となります

*2:Sビデオ/ビデオ入力時のみ

*3:RGB/YPbPr入力時のみ

- RGB(静止画)/ネットワーク/DVI(静止画)入力時

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
映像モード	ダイナミック	32
コントラスト	0	32
明るさ	0	32
シャープネス	0	32
ホワイトバランス 赤*1	0	32
ホワイトバランス 緑*1	0	32
ホワイトバランス 青*1	0	32
色温度設定	デフォルト	32
デイライトビュー	オート	33
RGB/YPbPr*2	オート	33

*1:RGB/DVI入力時のみ

*2:RGB (VGA60)入力時のみ

お知らせ:

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なります。

オンスクリーンメニューについて (つづき)

■ 位置調整 [📏]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
台形補正	0	34
シフト*1	0	34
シフト垂直*1	0	34
ドットクロック*1	0	34
クロックフェーズ*1	0	34
オーバースキャン*1	0	34
アスペクト*1	16:9	35
フレームロック*1	オフ	36

*1：信号設定によって設定が有効 / 無効になります

■ 表示言語 [🌐]

項目の詳細 (📖 36 ページ)

■ 表示オプション [📺]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
オンスクリーン表示	—	37
DVI-D IN	—	37
スクリーン設定	—	38
スタートアップロゴ	オン	38
自動位置補正	オート	39
入力検出	オン	39
バックカラー	ブルー	39
ワイドモード*1	オート	39
SXGA モード*1	SXGA	39
その他の機能	—	39

*1：信号設定によって設定が有効 / 無効になります

■ プロジェクター設定 [📽]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
ステータス	—	40
COMPUTER2 入出力選択	入力	40
無信号自動オフ	無効	40
起動方法	ラストメモリ	40
設置方法	フロント / 床置き	40
高地モード	オフ	41
エミュレート	デフォルト	41
ファンクションボタン	無効	41

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
音声設定	—	42
テストパターン	—	42
全設定初期化	—	42
フィルター残量リセット	—	42

■ セキュリティ [🔒]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
パスワード設定	オフ	43
パスワード変更	—	43
テキスト設定	オフ	43
テキスト変更	—	43
メニューロック	オフ	44
メニューロックパスワード	—	44
操作設定	—	44

■ ネットワーク [🌐]

項目の詳細 (📖 45 ページ参照)

サブメニュー項目	工場出荷時
有線 LAN	—
無線 LAN*	S-MAP
プロジェクター名変更	—
パスワード設定	オフ
パスワード変更	—
ネットワークスタンバイ	オフ
ネットワークコントロール	オン
ライブモード割り込み	オフ
コンピューター検索*	—
マルチライブ	—
ステータス	—
初期化	—

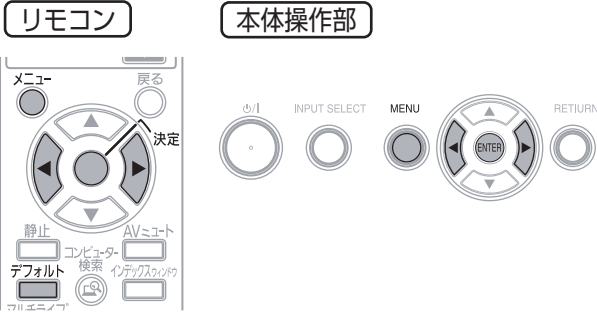
*PT-FW300NTのみ

お知らせ：

- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、入力端子の選択により表示が異なります。

「映像調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.29 ページ) のメインメニューから「映像調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。
 ● 項目を選んだら ◀▶ ボタンで調整してください。



映像モード

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像に設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。



*1: 動画入力時
 *2: 静止画入力時

スタンダード	標準的な明るさでご覧になる場合
ダイナミック	より明るく、くっきりした画質でご覧になる場合
黒板	黒板に投写する場合
ナチュラル	暗い部屋でご覧になる場合
シネマ	映画をご覧になる場合

お知らせ：
 ● 映像モードを切り換えた後、映像が安定するまで数秒かかる場合があります。

コントラスト

色の明暗度を調整します。

暗く ◀▶ 明るく

明るさ

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

黒浮きを抑える ◀▶ 黒つぶれを抑える

色の濃さ

[S ビデオ / ビデオ / YPbPr / RGB(動画) / DVI(動画) 信号入力時のみ] 色の濃さを調整します。

薄く ◀▶ 濃く

色あい

[S ビデオ / ビデオ / YPbPr / RGB(動画) / DVI(動画) 信号入力時のみ] 肌色の部分を調整します。

緑色を抑える ◀▶ 赤紫色を抑える

シャープネス

映像のシャープ感を調整します。

やわらかく ◀▶ くっきり

お知らせ：

● 設定可能範囲は入力信号によって異なります。

ホワイトバランス

[RGB(静止画) / DVI(静止画) 信号入力時のみ] 映像の白色部分に色が付いている場合に調整します。

- 1 ◀▶ + 1

▲▼ ボタンで項目を選択します。

アドバンスドメニュー項目	工場出荷時
ホワイトバランス 赤	0
ホワイトバランス 緑	0
ホワイトバランス 青	0

色温度設定

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかかる場合に切り換えます。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える



デフォルト	標準的な設定の場合
高	映像の白色部分を青みがからせたい場合
低	映像の白色部分を赤みがからせたい場合

「映像調整」メニューについて (つづき)

デイトライトビュー

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

設定を切り換える   設定を切り換える



オート	周囲の明るさにより自動的に調整します
オン	デイトライトビュー有効
オフ	デイトライトビュー無効

お知らせ:

- プロジェクターの上面に物などを置くと、「オート」モードが正常に動作しない場合があります。
- 「プロジェクター設定」の「設置方法」で「リア/床置き」または「リア/天つり」を選択した場合、「オート」の設定できません。

デジタルシネマリアリティ

2-2、2-3 プルダウン時に適用する機能で垂直解像度を向上させることができます。一部の信号入力時のみ有効となります。(480i, 576i, 1080/60i, 1080/50i)

設定を切り換える   設定を切り換える

オフ	デジタルシネマリアリティ無効
オン	デジタルシネマリアリティ有効

お知らせ:

- ネットワーク信号入力時は調整できません。

ノイズリダクション

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]
入力信号が劣化しているときに生じるノイズを除去することができます。

設定を切り換える   設定を切り換える

オフ	ノイズリダクション無効
オン	ノイズリダクション有効

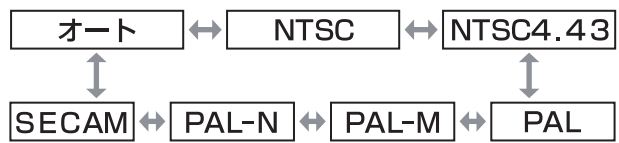
お願い:

- ノイズが少ない入力信号に対して、「ノイズリダクション」を「オン」に設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は「オフ」に設定してください。

TVシステム

[Sビデオ/ビデオ信号入力時のみ]
入力信号に合ったカラー方式を設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える



お願い:

- 通常は「オート」に設定してください。
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内ではNTSC (P.61 ページ) の信号方式が使われています。

お知らせ:

- 「オート」は、NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL60/PAL-N/SECAMの中から自動的に判別します。

RGB/YPbPr

通常は「オート」に設定してください。「オート」で正常に映らない場合は、入力する信号に合わせて「RGB」または「YPbPr」を設定してください。一部の信号入力時のみ有効となります。(VGA60, 480i, 576i, 480p, 576p, 1080/60i, 1080/50i, 1080/60p, 1080/50p, 720/60p, 720/50p)
コンピューター 1 入力端子とコンピューター 2 入力/1 出力端子に入力する信号を選択します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オート	同期信号により、RGB/YPbPr 信号を自動的に選択します
RGB	RGB 信号を入力時に設定してください
YPbPr	YPbPr 信号を入力時に設定してください

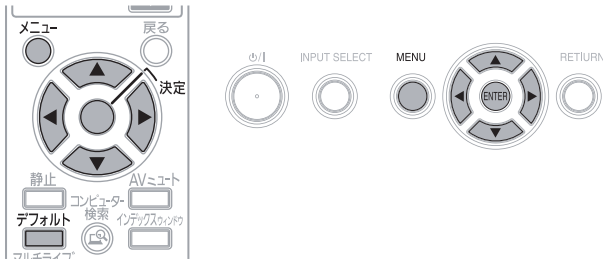
「位置調整」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P29 ページ) のメインメニューから「位置調整」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶▲▼ ボタンで調整してください。

リモコン

本体操作部



台形補正

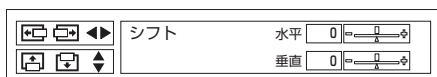
本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いている場合に発生する台形ひずみを補正します。

画面の状態	操作

お知らせ:

- 台形ひずみは、縦方向の傾きに対して ± 30 度まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと、画面サイズも変化します。
- メニュー画面に台形補正は機能しません。
- レンズシフトの位置によっては、台形ひずみが発生します。
- 補正量、レンズズーム量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

シフト



水平: ▶▶ ボタンで映像を左右に調整します。
垂直: ▲▼ ボタンで映像を上下に調整します。

お知らせ:

- ネットワーク信号入力時は調整できません。

シフト垂直

[ネットワーク入力時の「アスペクト」が「H-フィット」のみ]

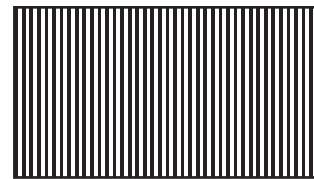
◀▶ ボタンで映像を上下に調整します。

ドットクロック

[RGB(静止画) 信号入力時のみ]

縦縞模様を投写したときに発生するノイズを軽減する際に調整します。

下記のような縞模様を投写したときに、周期的な縞模様(ノイズ)が発生することがあります。この場合に ◀▶ ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



お願い:

- 「クロックフェーズ」より先に調整してください。

クロックフェーズ

[RGB/YPbPr) 信号入力時のみ]

「ドットクロック」調整後、さらにノイズを軽減させることができます。

◀▶ ボタンで、ノイズが目立たなくなるように調整してください。

お知らせ:

- ドットクロック周波数が 150 MHz を超える信号を投写時は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。(P53 ページ)

オーバースキャン

[S ビデオ / ビデオ / YPbPr/RGB(動画)/DVI(動画) 信号入力時のみ]

投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。

映像を縮小 ◀▶ ◀▶ 映像を拡大 ▶▶ ▶▶

- 設定可能範囲: 0 ~ +3

お知らせ:

- ネットワーク信号入力時は調整できません。

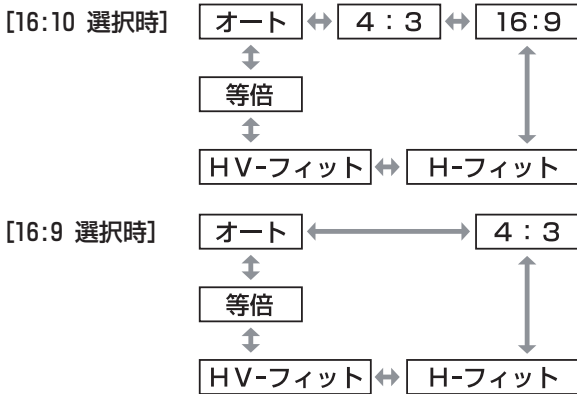
「位置調整」メニューについて (つづき)

アスペクト

映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換えます。
 入力する信号とスクリーンフォーマット設定
 (16:10 または 16:9) によって切り換わります。
 (P.38 ページ)

設定を切り換える   設定を切り換える

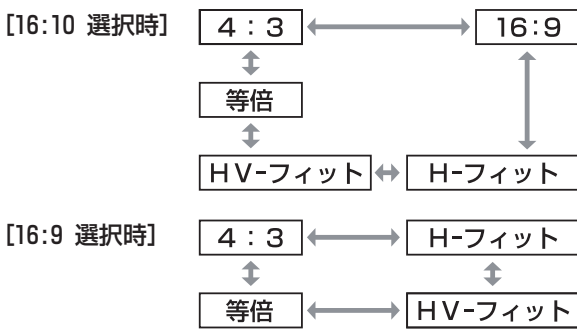
[Sビデオ / ビデオ / YPBPr 入力時]



お知らせ:

- オートは NTSC 480i のみ表示されます。
- 等倍は一部の信号のみ表示されます。
- 1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/50p、720/60p、720/50p 信号の場合は、
 [16:10 選択時] 16:9 ⇄ V-フィット ⇄ HV-フィット ⇄ 4:3 に切り換わります。
 [16:9 選択時] アスペクト比は、切り換わりません。

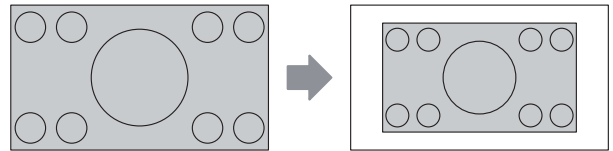
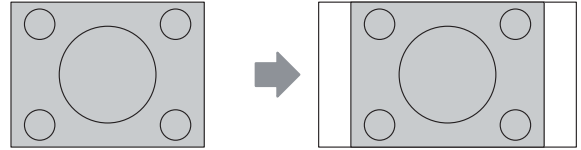
[コンピューター入力時]



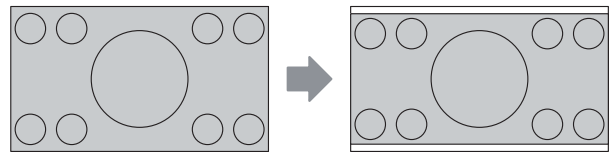
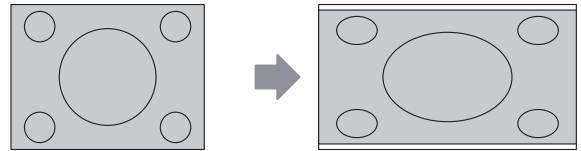
- 等倍は一部の信号のみ表示されます。
- WXGA768、WIDE720、1080/60p、1080/50p の場合は、
 [16:10 選択時] 16:9 ⇄ V-フィット ⇄ HV-フィット ⇄ 4:3 に切り換わります。
 [16:9 選択時] 4:3 ⇄ HV-フィットに切り換わります。
- WXGA768、WIDE720、1080/60p、1080/50p 以外のワイド信号^{*2}の場合は、
 [16:10 選択時] 16:9 ⇄ 4:3 に切り換わります。
 [16:9 選択時] 4:3 ⇄ HV-フィットに切り換わります。

■ **オート** [NTSC、525i (480i) 入力時のみ]
 入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換え、投写します。

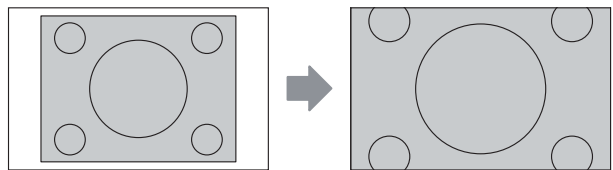
■ **4:3**
 標準信号^{*1} 入力時は、入力アスペクト比のまま投写します。
 ワイド信号^{*2} 入力時は、4:3のスクリーンに収まるように入力アスペクト比のまま縮小して投写します。



■ **16:10 (16:9)**
 標準信号^{*1} 入力時は、アスペクト比を 16:9 にして投写します。
 ワイド信号^{*2} 入力時は、入力アスペクト比のまま投写します。



■ **H-フィット**
 標準信号^{*1} 入力時は、アスペクト比を固定したまま、水平方向のパネル画素を全て使って、画像の上下が切れて投写されます。

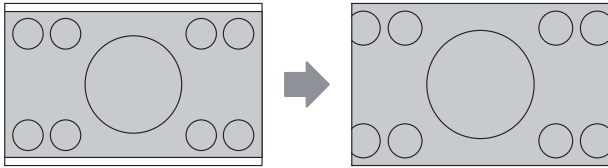


*1 標準信号とは、アスペクト比が 4:3、5:4 の信号入力時です。
 *2 ワイド信号とは、アスペクト比が 16:10、16:9、15:9 の信号入力時です。

「位置調整」メニューについて(つづき)

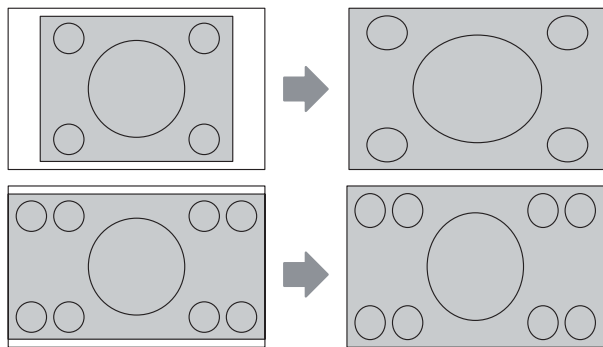
■V-フィット

16:9の映像入力時に、アスペクト比を固定したまま、垂直方向のパネル画素を全て使って、画像の左右が切れて投写されます。



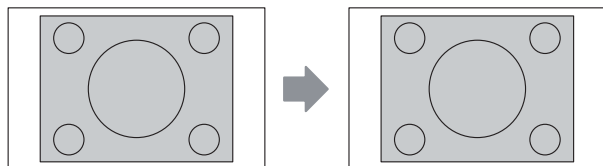
■HV-フィット

パネル画素(スクリーン)全体に映像を投写します。入力信号とパネル(スクリーン)のアスペクト比に変換して投写します。



■等倍

リサイズを行わず、入力信号の解像度のまま投写します。



お願い:

- アスペクト比4:3の映像を16:9で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重した映像は、アスペクト比4:3でご覧ください。

お知らせ:

- 入力している映像と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト比の切り換えを利用し、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。
- Sビデオ、ビデオ、YPbPrの信号の場合、入力信号によっては「オート」が表示されない場合があります。

フレームロック

[コンピュータ RGB/DVI 信号入力時のみ]
一部のコンピュータ信号で設定可能になります。
動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

設定を切り換える   設定を切り換える

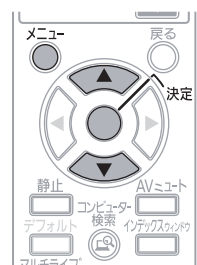
オン	フレームロック有効
オフ	フレームロック無効

「表示言語」メニューについて

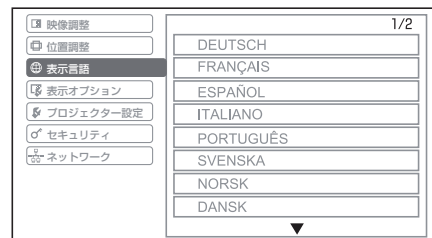
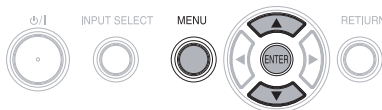
「メニュー画面の操作方法」(P29 ページ)のメインメニューから「表示言語」を選び、サブメニューを表示させます。

- ▲▼ボタンで選び、「決定」ボタンで言語の設定をしてください。

リモコン



本体操作部

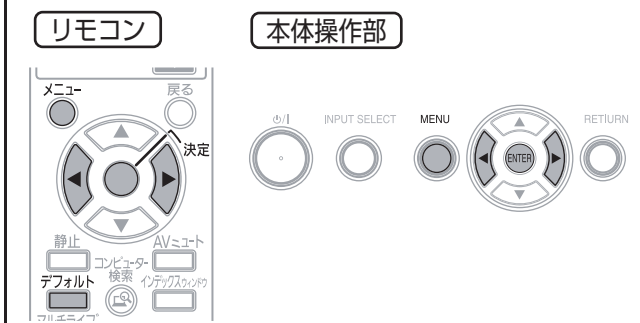


設定している言語に表示されます

「表示オプション」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.29 ページ) のメインメニューから「表示オプション」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。



オンスクリーン表示

オンスクリーン表示の設定ができます。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

■ 入力ガイド

画面右上に、現在選択している入力端子名の表示方法を設定します。

詳細表示	入力端子をグラフィック表示
オフ	入力ガイド無効
簡易表示	入力端子名のみ表示

お知らせ：

- 「詳細表示」に設定中
コンピューター1 / コンピューター2 / DVI 入力端子に信号が入力されていないと、コンピューター接続時に下記のヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面を表示させたくない場合は、「簡易表示」または「オフ」に設定してください。

コンピューター接続時のヘルプ画面について

コンピューター側の映像出力切り換えコマンドについては、下記の表をご覧ください。

メーカー	映像出力切り換えコマンド	メーカー	映像出力切り換えコマンド
Panasonic	Fn + F3	DELL	Fn + F8
NEC	Fn + F3	EPSON	Fn + F8
HP	Fn + F5	FUJITSU	Fn + F10
SHARP	Fn + F5	Apple	F7
TOSHIBA	Fn + F5	その他	Fn + □
IBM	Fn + F7		
SONY	Fn + F7		

お知らせ：

- コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューターに付属の説明書をご覧ください。

■ OSD デザイン

オンスクリーンメニュー (OSD) の背景を設定します。

タイプ 1	背景を半透明の黒色で表示
タイプ 2	背景を青色で表示
タイプ 3	背景を半透明の紺色で表示

■ 警告メッセージ

警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

オン	警告メッセージ表示
オフ	警告メッセージ非表示

DVI-D IN

本機と外部機器を DVI で接続時に、正常な映像が映らない場合は、設定を切り換えてください。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

■ DVI EDID

EDID1	480 p、576 p、1080/60 i、1080/50 i、720/60 p、720/50 p、1080/60 p、1080/50 p
EDID2 (PC)	VGA60、SVGA60、XGA60、XGA70、XGA75、WXGA768/60、SXGA60、SXGA60+、WXGA800/60

お知らせ：

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

■ DVI 信号レベル

0-255 : PC	コンピューターなどの DVI 端子出力で接続されている場合
16-235	DVD プレイヤーなどの HDMI 端子出力で接続されている場合

お知らせ：

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 一部の機器では、映像が出ないなど正常に動作しない場合があります。

「表示オプション」メニューについて(つづき)

スクリーン設定

本機の機能を詳細に設定ができます。

設定を切り換える   設定を切り換える

■スクリーンフォーマット

お使いのスクリーンのアスペクト比によって切り換えます。

16:10	16:10または4:3のスクリーンを使用して設置する場合
16:9	16:9のスクリーンを使用して設置する場合

■スクリーン位置

「スクリーンフォーマット」を16:9に設定したとき、16:10のスクリーンに対する入力映像の投写位置を設定します。

下	投写画面の下部に表示
中央	投写画面の中央部に表示
上	投写画面の上部に表示

スタートアップロゴ

電源を入れたときに「Panasonic」ロゴを表示するかを設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

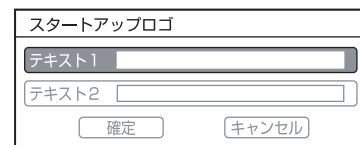
オン	「Panasonic」ロゴを表示
ユーザー	テキストを表示
オフ	スタートアップロゴ非表示

お知らせ:

- 「ユーザー」項目を選択すると、入力された文字がスタートアップ時に表示されます。入力できる文字数は1行に40文字で、2行まで入力設定ができます。
- スタートアップロゴは、約30秒で消えます。

■ユーザー設定

- 1) ◀▶ ボタンで「ユーザー」を選び、「決定」ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで項目を選び、「決定」ボタンを押す
「テキスト1」に1行目に表示したい文字を、「テキスト2」に2行目に表示したい文字を入力します。



- 3) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力していく
「全削除」を選ぶと、入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している1文字を消去できます。



- 4) 「決定」を選び、「決定」ボタンを押す
- 5) サブメニュー項目で「決定」を選び、「決定」ボタンを押す
中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

「表示オプション」メニューについて (つづき)

自動位置補正

通常は「オート」に設定してください。

設定を切り換える   設定を切り換える

オート	投写中の映像信号がコンピューター信号に変わると、自動位置補正を行います
ボタン	「自動位置補正」ボタンを押したときのみ有効 (P.26 ページ)

入力検出

電源を入れたとき、信号が入力されている端子を自動的に検出し、投写する設定をします。

設定を切り換える   設定を切り換える

オン	自動入力検出有効
オフ	自動入力検出無効

お知らせ：

- 投写映像が無信号時のみ機能します。
入力信号を投写中は、自動的に切り換わりません。

バックカラー

信号が入力されていないときの投写画面の色を設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

ブルー	投写画面全体に青色を表示
ブラック	投写画面全体に黒色を表示

ワイドモード

ワイド信号 (16 : 9、16 : 10、15 : 9) を入力する場合に設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オート	自動的に切り換える場合
オフ	4 : 3 の信号を入力する場合
オン	ワイド信号を入力する場合

SXGA モード

SXGA 入力時に、投写映像がスクリーンからはみ出す場合に設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

SXGA	通常の場合
SXGA+	画面が切れている場合

その他の機能

リモコンボタンの一部の操作を、サブメニューからも操作できます。

■ 自動位置補正

詳しくは「表示位置を自動補正する」をご覧ください。(P.26 ページ)

■ 静止

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させ、音声を消すことができます。「戻る」ボタンで解除されます。

■ AV ミュート

一定時間本機を使用しない場合に、映像と音声を消すことができます。「戻る」ボタンで解除されます。

■ インデックスウィンドウ

詳しくは「■ インデックスウィンドウ表示中のボタン機能」をご覧ください。(P.26 ページ)

■ デジタルズーム



- ▶ ボタン……倍率を上げる
 - ◀ ボタン……倍率を下げる
- 「決定」ボタンで倍率を確定します。
「戻る」ボタンで解除されます。

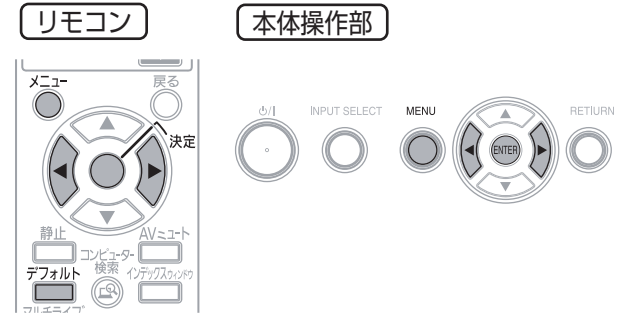
■ 2 画面

詳しくは「■ 2 画面表示中のボタン機能」をご覧ください。(P.27 ページ)

「プロジェクター設定」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.29 ページ) のメインメニューから「プロジェクター設定」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。



ステータス

本体の利用状況を表示します。

■ 信号

- 名前：信号名称
- 周波数：信号周波数

■ 使用時間

- プロジェクター：プロジェクターの実使用時間
- ランプ：ランプの実使用時間

■ フィルター

- 残量：ACF の残量



※ ACF：オートクリーニングフィルタ)

COMPUTER2 入出力選択

コンピューター2入力 / 1 出力端子から信号を入力するか、出力するかを設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

入力	COMPUTER 2 IN に設定
出力	COMPUTER 1 OUT に設定

無信号自動オフ

設定時間までに入力信号が無いと、自動的に本機の電源をスタンバイ状態にします。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

無効	無信号自動オフ無効
15分～60分	5分間隔で設定可能

起動方法

本機に電源プラグを接続したときの起動方法を設定します。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

ラストメモリ	電源プラグを抜く前の状態で起動
スタンバイ	スタンバイ状態で起動
オンスタート	すぐに投写を開始

設置方法

本機の設置方法によって切り換えます。(P.16 ページ)

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

フロント / 床置き	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
フロント / 天つり	スクリーン前方にある天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合
リア / 床置き	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) にある机の上などに設置する場合
リア / 天つり	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) に天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合

「プロジェクター設定」メニューについて (つづき)

高地モード

海拔 1 400 m 以上の場所でご使用の場合に設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オフ	通常的环境下で使用する場合
オン	高地で使用する場合

お知らせ:

- 「オン」に設定した場合、ファンの回転数が上がり、音が大きくなります。

エミュレート

本機のシリアル入力端子を使用し、コンピューターで制御する際に、本機購入以前の弊社のプロジェクター制御コマンドを使用する場合に設定します。

- 1) 「決定」ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで設定したい項目を選ぶ
- 3) 「決定」ボタンを押す

● デフォルト	F100系、FW100系、F200系、F300系、FW300系
D3500	D3500系
D4000	D4000系
D/W5K シリーズ	D5500系、DW5000系、D5600系、DW5100系、D5700系
L730	L520系 L720系、L730系
L780	L750系、L780系
L735	L735系
L785	L785系
LB/W80	LB75系、LB80系、LW80系

ファンクションボタン

リモコンの「ファンクション」ボタンによく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用します。

- 1) 「決定」ボタンを押す
- 2) ▲▼ ボタンで「ファンクション」ボタンに設定したい項目を選ぶ
- 3) 「決定」ボタンを押す

無効	割り当てなし
アスペクト	映像の縦横比 (アスペクト比) を切り換える (☞ 35 ページ) ● 「ファンクション」ボタンを押すと、現在選択されているアスペクトが表示されます。 ◀▶ ボタンを押すごとにアスペクトが切り換わります。
映像モード	映像モードを切り換える (☞ 32 ページ) ● 「ファンクション」ボタンを押すと、現在選択されている映像モードが表示されます。 ◀▶ ボタンを押すごとに映像モードが切り換わります。
デイライトビュー	デイライトビューのモードを切り換える (☞ 33 ページ) ● 「ファンクション」ボタンを押すと、現在選択されているモードが表示されます。 ◀▶ ボタンを押すごとにモードが切り換わります。

お知らせ:

- 約5秒間操作しないと表示は消え、設定が確定します。

「プロジェクター設定」メニューについて (つづき)

音声設定

音声の機能を詳細に設定ができます。

■音量

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整します。



■バランス

音声出力の左右の音声バランスを調整します。



■スタンバイ時動作

スタンバイ状態での音声出力を設定します。



オフ	無効
オン	有効

■音声入力選択

[DVI / コンピューター 1 / コンピューター 2]
接続機器の音声入力をコンピューター 1 用音声入力端子「COMPUTER AUDIO IN 1」、コンピューター 2 用音声入力端子「COMPUTER AUDIO IN 2」、ビデオ・S-VIDEO 用音声入力端子「AUDIO IN」に接続するかを選択します。



入力端子名	
DVI-D IN	COMPUTER AUDIO IN 2 か AUDIO IN の選択
COMPUTER 1 IN	COMPUTER AUDIO IN 1 か AUDIO IN の選択
COMPUTER 2 IN	COMPUTER AUDIO IN 2 か AUDIO IN の選択

テストパターン

「決定」ボタンを押すと、テストパターンが表示されます。7種類のテストパターンがあり、切り換えられます。



「戻る」ボタンまたは「メニュー」ボタンを押すと、「プロジェクター設定」メニューに戻ります。

全設定初期化

「メニュー」項目で調整した値を工場出荷時の状態に戻します。

- 「全設定初期化」メニューで「決定」ボタンを押すと、「全ての設定を初期化します。よろしいですか?」と表示され、「はい」を選び「決定」ボタンを押すと、「初期化中…」の画面が表示され、その後「電源をオフします。よろしいですか?」と表示されます。
表示に従って電源を「オフ」してください。(このとき、他のキー操作は全て無効となっています。)
- 「全設定初期化」後は、主電源スイッチを入れ直してください。主電源スイッチを「オン」(ON)後、「初期設定」の画面が表示されます。
([P11](#) ページ)

お知らせ:

- プロジェクターの投写時間、ランプの使用時間、フィルターの残量、「ネットワーク設定」は初期化されません。
- 「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合は、パスワード入力を行ってください。パスワードも工場出荷時の状態に戻ります。

フィルター残量リセット

ACFユニットを交換後、「決定」ボタンを約3秒間押し続け、フィルター残量のリセットを行ってください。

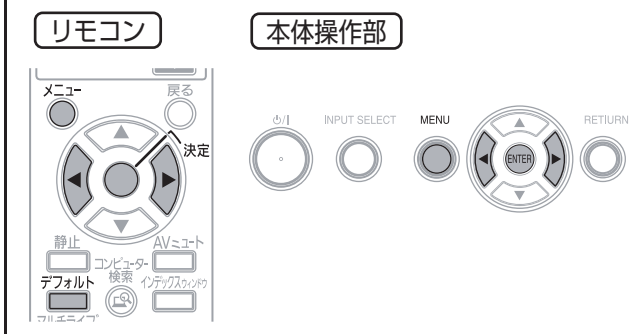
お知らせ:

- ACFユニットを交換する場合は、「ACFユニットの交換手順」をご覧ください。
([P48](#) ページ)

「セキュリティ」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.29 ページ)のメインメニューから「セキュリティ」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- はじめてご使用になる場合
初期パスワード:「▲▶▼◀▲▶▼◀」ボタンを順に押し、「決定」ボタンを押してください。
- 項目を選んだら◀▶ボタンで設定してください。



お願い:

- セキュリティ画面を表示してから行ってください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、「決定」ボタンを押してください。

パスワード設定

電源を入れたときに、パスワード入力画面を表示させることができます。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

オフ	パスワード入力画面非表示
オン	パスワード入力画面表示

お知らせ:

- お買い上げ時、または全設定初期化したあと、パスワード設定は「オフ」になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- 正しくパスワードを入力しないと、電源ボタン以外の操作ができなくなります。

パスワード変更

パスワードを変更することができます。

- 1) ▲▼◀▶ ボタンでパスワードを設定する (最大8つのボタン操作を設定できます。)
- 2) 「決定」ボタンを押す
- 3) 再度パスワードを入力し、「決定」ボタンを押す

お知らせ:

- 入力したパスワードは画面上では、*印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度パスワードを入力してください。

テキスト設定

投写中の映像の下に、設定した文字を常時表示することができます。

設定を切り換える ◀▶ 設定を切り換える

オフ	テキスト設定無効
オン	テキスト設定有効

テキスト変更

「テキスト設定」を「オン」にしたときに表示する文字を変更することができます。

- 1) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力する (最大22文字まで入力できます。)

「全削除」を選ぶと、入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している1文字を消去できます。



- 2) ▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押す

中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

「セキュリティ」メニューについて (つづき)

メニューロック

「メニュー」ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できるかを設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

オフ	メニューのロック解除
オン	メニューのロック

お知らせ：

- 「メニューロック」を「オン」に設定後、正しくパスワードを入力しないと「メニュー」ボタンの操作ができなくなります。
- お買い上げ時、または全設定初期化後、パスワード設定は「オフ」になっています。

メニューロックパスワード

「メニューロック」を「オン」に設定したとき、「メニューロックパスワード」の設定ができます。

1) ▲▼◀▶ ボタンで文字を選び、「決定」ボタンを押し、入力する (最大 16 文字まで入力できます。)

「全削除」を選ぶと、入力した文字の全てを削除できます。リモコンの「デフォルト」ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択している 1 文字を消去できます。



2) ▲▼◀▶ ボタンで「確定」を選び、「決定」ボタンを押し

中止する場合は「キャンセル」を選んでください。

お知らせ：

- はじめてご使用になるとき、または全設定初期化後、初期のパスワードは「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- 初期パスワードへの戻し方は、「メニューロックパスワードについて」(P.56 ページ)をご覧ください。

操作設定

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

設定を切り換える   設定を切り換える

■ 本体操作部

有効	本体ボタン操作有効
無効	本体ボタン操作無効

■ リモコン

有効	リモコンボタン操作有効
無効	リモコンボタン操作無効

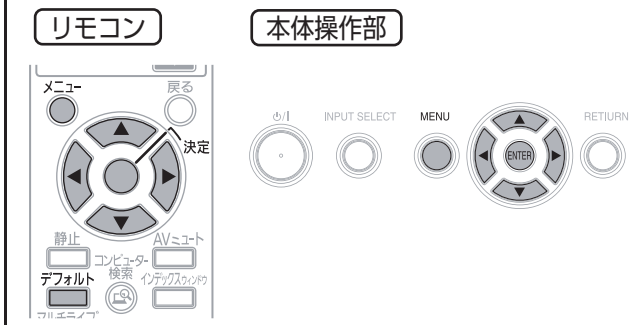
お知らせ：

- 「無効」に設定すると確認画面が表示されるので、「はい」を選び「決定」ボタンを押してください。
- 「無効」に設定した側の機器でボタン操作を行うと、パスワード画面が表示されます。「セキュリティ」で設定したパスワードを入力してください。
- パスワード画面は約 10 秒で消えます。
- 「本体操作部」と「リモコン」の操作を両方とも「無効」にした場合、本体操作部のボタンとリモコンボタン操作のすべてが効かなくなるため、電源を「オフ」(スタンバイ状態)にできなくなります。
- 電源が「オフ」(スタンバイ状態)のとき、本体操作部の「ENTER」ボタンを押しながら「MENU」ボタンを 2 秒以上押し、「本体操作部」の設定が「無効」から「有効」に切り換わり、投写を開始します。また、投写中に本体操作部の「ENTER」ボタンを押しながら「MENU」ボタンを 2 秒以上押し「無効」を「有効」に換えることができます。

「ネットワーク」メニューについて

「メニュー画面の操作方法」(P.29 ページ) のメインメニューから「ネットワーク」を選び、サブメニューから項目を選んでください。

- 項目を選んだら ◀▶ ボタンで設定してください。



お知らせ:

- コンピューターとネットワーク通信するときに設定します。PJ Link・ネットワーク関連の詳細は、付属の CD-ROM 中にある「ネットワーク操作説明書」をご覧ください。

■ 有線 LAN

ネットワークに関する設定ができます。

■ 無線 LAN (PT-FW300NT のみ)

ネットワークに関する設定ができます。

■ プロジェクター名変更

本機のプロジェクター名を設定できます。

■ パスワード設定

ネットワーク通信時にパスワードの確認を行う場合は、「オン」に設定します。

■ パスワード変更

ネットワーク通信時のパスワードを変更できます。

■ ネットワークスタンバイ

本機がスタンバイ状態のとき、有線 LAN や無線 LAN で接続しているコンピューターから本機の電源を「ON」にしたい場合は、「オン」設定にします。

■ ネットワークコントロール

ネットワーク通信しているコンピューターから本機を制御したい場合は「オン」に設定します。

■ ライブモード割り込み

ネットワークでライブモード実行中に、他のユーザーからのライブモードでの接続を許可する場合は「オン」に設定します。

■ コンピューター検索 (PT-FW300NT のみ)

ネットワーク接続しているコンピューターを検索します。

■ マルチライブ

ネットワーク入力信号選択時に使用します。

■ ステータス

ネットワークの設定を表示します。

■ 初期化

ネットワークの設定を工場出荷状態に戻すことができます。

お知らせ:

- 「セキュリティ」メニューで「パスワード設定」を「オン」にしている場合、パスワード入力が必要です。

ランプ / 温度 / フィルターモニター

モニターが点灯したら

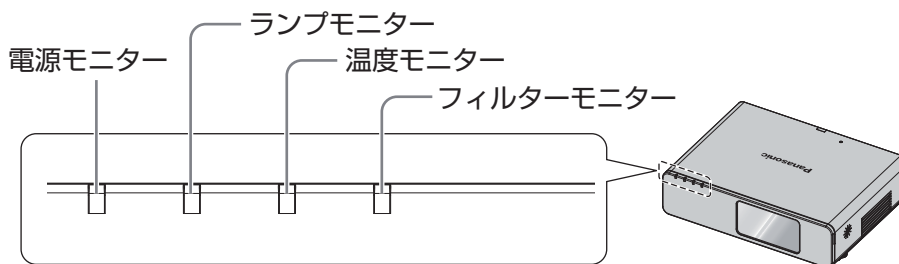
本機内部に異常が発生すると、ランプ・温度・フィルターのモニターランプが点灯や点滅でお知らせします。モニターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い：

- 処置を行うときの電源操作は「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(P.23 ページ)

お知らせ：

- 電源の状態は「電源モニター」で確認してください。(P.22 ページ)



■ ランプモニター

点灯状況	● 赤色点灯	● 赤色点滅
状態	ランプユニットの交換時期を知らせています。ランプユニットの使用時間が5 000 時間に達すると点灯します。	光源ランプが点灯しない、または途中で不点灯になった。
お調べください	電源を入れたときに、ランプの交換を促す表示がスクリーンに出ていませんか。	電源を切ってからすぐに電源を入れたか、または停電などが発生していませんか。
処置方法	ランプユニットの交換を行ってください。(P.49 ページ)	光源ランプが冷えるまで約 90 秒以上待ってから電源を入れてください。 「電源を切る」(P.23 ページ) の手順で主電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。

お知らせ：

- 上記の処置をしても「ランプモニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

■ 温度モニター

点灯状況	● 投写中に赤色点灯 (『取扱説明書の「温度モニター」をご覧ください。』とスクリーンに表示します。) ● 電源オフの状態でも赤色点滅 (自動的に投写を中止)		
状態	周囲または内部が異常に高温になっています。		
お調べください	吸排気孔がふさがれていませんか。	気温の高いところで使用していませんか。	海拔 1 400 m 以上の場所で使用していませんか。
処置方法	吸排気孔をふさいでいるものを取り除いてください。	仕様で定められた周囲温度、周囲湿度の場所に設置してください。(P.59 ページ)	電源を入れてから約 2 分間のみ本体を動作させることができます。2 分以内に「高地モード」を「オン」にしてください。(P.41 ページ)

お知らせ：

- 上記の処置をしても「温度モニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

■ フィルターモニター

点灯状況	● 赤色点灯	● 赤色点滅	● オレンジ色点滅	● オレンジ色点灯
状態	フィルターが全て巻き取られ、新しい面がありません。	ACFユニットが装着されていません。	ACFユニットが正しく動作していません。	ACFの新しい面が残りわずかです。セット使用残り約200時間です。
お調べください	「プロジェクター設定」の「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。 (☞ 40 ページ)	ACFユニット収納部をご確認ください。	フィルターに異物があるか確認してください。	「プロジェクター設定」の「ステータス」でフィルターの残量をご確認ください。 (☞ 40 ページ)
処置方法	ACFユニットを交換してください。 (☞ 48 ページ)	ACFユニットを装着してください。	異物がある場合は取り除いてください。異物が見られない場合は、販売店にご相談ください。	新しいACFユニットをご用意ください。

お知らせ:

- 上記の処置をしても、「フィルターモニター」が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- ACFユニットが装着されていない場合、「フィルターが装着されていません」と表示され、「フィルターモニター」が赤色点滅し、電源が切れます。
- フィルターが巻き取られている間は、緑色点滅します。
- フィルターが巻き取られているときに、動作音が聞こえることがあります。
- オレンジ色点滅開始後、上記のセットご使用可能時間は目安であり、ほこりの多い環境では短くなる場合があります。お早めに新しいACFユニットをご用意ください。
- フィルターの巻き取りが終了しても使い続けた場合、赤色点滅になり約10分後に映像が消えます。

お手入れ

お手入れの前に

- お手入れを行うときは必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
(☞ 21、23 ページ)
- 電源を切るときは、「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(☞ 23 ページ)

お手入れ

■ 外装ケース

汚れやほこりは柔らかい乾いた布でふき取ってください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際に、ベンジン、シンナー、アルコール等の溶剤、または台所用洗剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。使用すると外装ケースが変質したり、塗装がはげたりする恐れがあります。

■ レンズ、前面扉のガラス部分

レンズや前面扉のガラス部分にゴミやほこりが付着すると、スクリーンにゴミやほこりが拡大されて映ります。柔らかいきれいな布でふいてください。

レンズ面、前面扉のガラス部分は、毛羽立った布やほこりのついた布でふかないでください。

部品交換

部品交換の前に

- 部品交換を行うときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。(P.21、23 ページ)
- 電源を切るときは「電源を切る」の手順を必ずお守りください。(P.23 ページ)

部品交換

■ ACF (オートクリーニングフィルター) ユニット

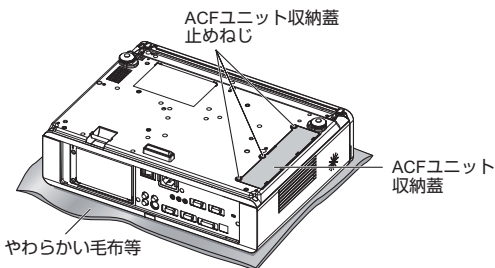
ACF ユニットは交換部品 (別売り) です。ACF ユニットは巻き取り方式を採用しており、自動的に汚れた面を巻き取ります。

「プロジェクター設定」の「ステータス」でフィルターの残量の確認を行ない (P.40 ページ)、フィルターの残量が少なくなってきたら、交換用の ACF ユニットをご用意ください。

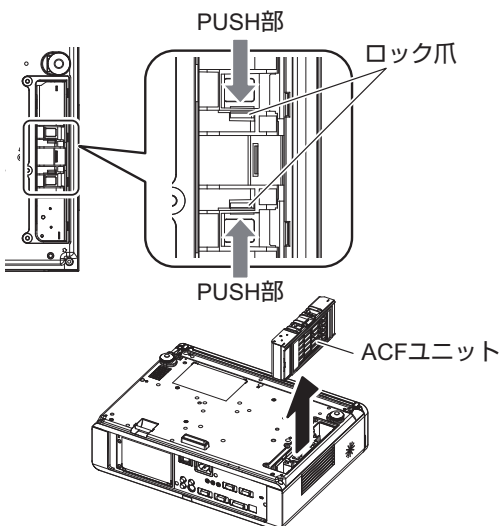
- ACF ユニット品番：ET-ACF100 (サービス部品扱い)

■ ACF ユニットの交換手順

- ① 主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く
- ② やわらかい毛布等の上に、プロジェクター本体を裏返して置く
 - プロジェクター本体に傷がつかないように静かに置いてください。
- ③ 「ACF ユニット収納蓋止めねじ」(3本)を外し、「ACF ユニット収納蓋」を取り外す

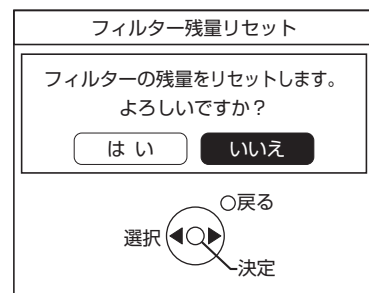


- ④ 「ロック爪」の PUSH 部を内側に寄せないように挟んでロックを解除し、ゆっくりとプロジェクター本体から「ACF ユニット」を引き抜く



- 「ACF ユニット」を取り出した後に、ACF ユニット収納部及び本体側吸気孔に大きなゴミ、ほこりがある場合は、取り除いてください。

- ⑤ 新しい「ACF ユニット」を「ロック爪」が2カ所とも引っ掛かるまでプロジェクター本体にしっかりと押し込む
- ⑥ 「ACF ユニット収納蓋」を取り付け、「ACF ユニット収納蓋止めねじ」(3本)でしっかりと締め付ける
- ⑦ 「ACF ユニット」交換後、「プロジェクター設定」のサブメニュー「フィルター残量リセット」を選択し「決定」ボタンを約3秒間押し続ける



- ⑧ ◀▶ ボタンで「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

- フィルターの残量がリセットされます。

お知らせ：

- ACF ユニットは必ず取り付けてご使用ください。ACF ユニットが装着されていない場合、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となるため電源が切れます。
- ACF ユニットの交換時期は、使用環境により異なります。

■ ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。40 ページの「プロジェクター設定」メニューの「ステータス」で使用時間のランプを確認し、定期的に交換を行ってください。

ランプユニットの交換は、専門の技術者にご依頼することをお勧めします。販売店にご相談ください。

ランプユニット品番：ET-LAF100（サービス部品扱い）ご購入の際は、販売店にご相談ください。



警告

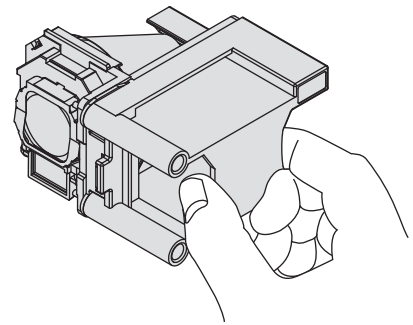
■ ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待つ）行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因になります。

■ ランプユニットの交換上のお願ひ

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- ランプユニットを交換する際は、必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。
- ガラス破片飛散防止のため、ランプユニットを水平に持って交換してください。また本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で作業をしたり、顔を近づけたりしないで、ランプを水平に引き出して交換してください。
- 取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。



お願ひ：

- 上記のランプ以外は使用しないでください。

■ ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。交換の目安は 5 000 時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、5 000 時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。6 000 時間を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因となるため約 10 分後に自動消灯します。

	オンスクリーン表示	ランプモニター
5 000 時間以降	10 分間表示されます。10 分以内にいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
6 000 時間以降	いずれかのボタンを押さない限り、表示は消えません。	

お知らせ：

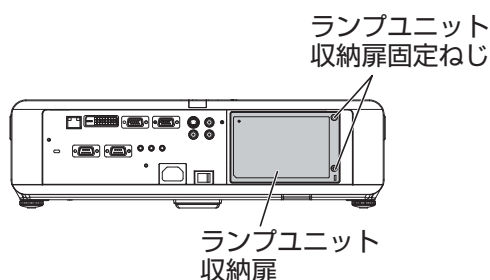
- 5 000 時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については 60 ページの保証書や「保証とアフターサービス」をご覧ください。

■ ランプユニットの交換手順

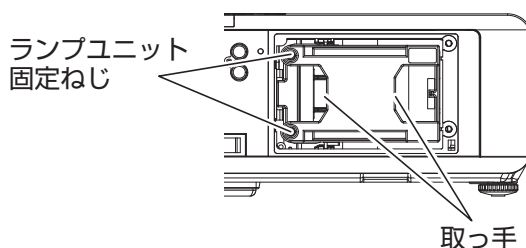
お願い:

- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業をしないでください。
- ランプユニットは確実に取り付けてください。ランプユニットの取り付けが不完全だと、保護回路が作動し電源が入りません。

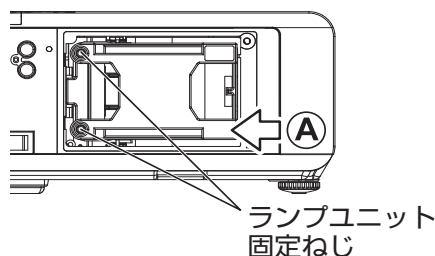
- ① 「電源を切る」(P.23 ページ) の手順を守り、主電源スイッチを切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、1 時間以上待ちランプユニット近辺が冷えていることを確認する
- ② 本体後面の「ランプユニット収納扉固定ねじ」(2本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、「ランプユニット収納扉」を取り外す



- ③ 「ランプユニット固定ねじ」(2本) をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットの取っ手を持ち、ゆっくりと本体から引き出す



- ④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、「ランプユニット固定ねじ」(2本) をプラスドライバーでしっかりと締め付ける
挿入時、特に(A)部をよく押し込んでください。



- ⑤ ランプユニット収納扉を取り付け、「ランプユニット収納扉固定ねじ」(2本) をプラスドライバーでしっかりと締め付ける

お知らせ:

- 新しいランプユニット (品番: ET-LAF100) に交換した場合、本機側でランプユニットの積算時間が自動的にリセットされます。

修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	21
	● 主電源スイッチを「OFF」にしていますか。	23
	● コンセントに電源がきていますか。	21
	● プレーカーが落ちていませんか。	—
	● 「温度モニター」または「ランプモニター」が点灯または点滅していませんか。	46
	● ランプユニット収納扉は確実に取り付けられていますか。	50
映像がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。	19、20
	● 入力切替は正しく設定されていますか。	25
	● 明るさ調整が最小になっていませんか。	32
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	—
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	25
	● ACF(オートクリーニングフィルター)ユニットが外されていませんか。	48
映像がボヤけている	● レンズのフォーカスは合っていますか。	24
	● 投写距離は適切ですか。	15
	● レンズが汚れていませんか。	47
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	17
色が薄い／色あいが悪い	● 「色の濃さ」、「色あい」は正しく調整されていますか。	32
	● 本機に接続している機器は正しく調整されていますか。	—
内蔵スピーカーから音がでない	● 入力端子は正しく接続されていますか。	19、20
	● 音量調整が最小になっていませんか。	26、42
	● 音声出力 (VARIABLE AUDIO OUT) 端子に、ケーブルが接続されていませんか。	—
リモコンが働かない	● 乾電池が消耗していませんか。	—
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	12
	● リモコンと本機のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	12
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	12
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	12
	● 「レーザー」ボタンの切り換えが無効になっていませんか。	28
● 「リモコン」の設定が「無効」になっていませんか。	44	
本体操作部のボタンが働かない	● 「本体操作部」の設定が「無効」になっていませんか。「無効」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部の「ENTER」ボタンを押しながら「MENU」ボタンを2秒以上押せば設定を「有効」に戻すことができます。	44
正常な映像が映らない	● TV システムの選択は正しく行われていますか。	33
	● ビデオテープなど、映像ソース側に異常はありませんか。	—
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	53
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。(10 m 以下にしてください。)	—
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(例: 「Fn」 + 「F3」あるいは「Fn」 + 「F10」キーを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。コンピューターの機種によって異なりますので、コンピューター付属の説明書をご覧ください。)	—
	● COMPUTER 2 IN/1 OUT 端子に信号を入力している場合に、「プロジェクター設定」メニューの「COMPUTER 2 入力選択」を「出力」に設定していませんか。	40
パソコンの DVI-D 出力グラフィックボードの絵が出ない	● DVI-D IN の設定が EDID2 (PC) になっていますか。	37
	● グラフィックボードのドライバーを最新バージョンにすることで改善する可能性があります。	—
	● DVI-D IN の設定を行ってから、コンピューターの電源を入れなおすことで改善する可能性があります。	37

※上記内容を確認された後、正常に動作しない場合は、販売店にご相談ください。(P.60 ページ)

天つり金具取り付け時の注意事項

本機到天つり金具を使用して取り付ける場合は、付属のワイヤーロープを本機の底面に取り付け、ご使用いただきますよう、お願いします。

お知らせ：

- 安全性に問題はありますが、万一ねじが緩んだ場合など、不慮の事故を防止するためです。

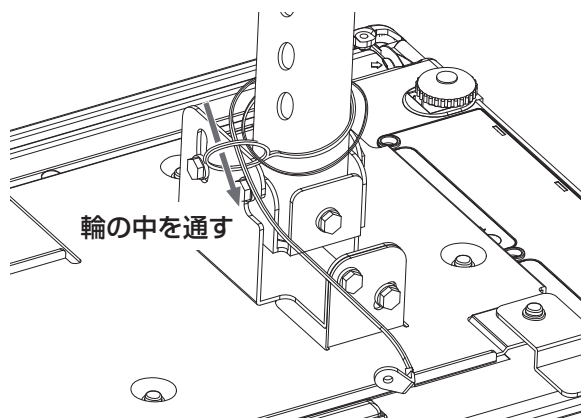
取り付け時の留意点

■ 工事は下記の工事手順に従い、工事の専門技術者、または販売店にご依頼ください

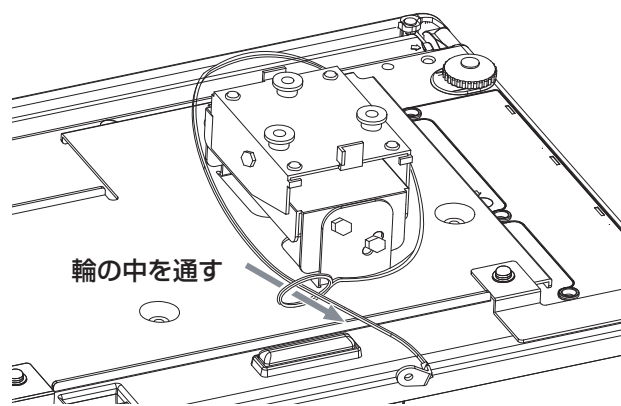
- 当社製以外の天つり金具ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ねじ類の締め付けの際は、トルクドライバーなどを使用し、電動ドライバーやインパクトドライバーを使用しないでください。
- ご使用を終了した製品は、工事の専門技術者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

■ 取り付け手順

- 1) 天つり金具の工事説明書に従い、本機到天つり金具を取り付ける
- 2) 本機に付属「ワイヤーロープ」の先端を下図のように引き回し、天つり金具に巻きつけます（出来る限りたわみを少なくしてください。）



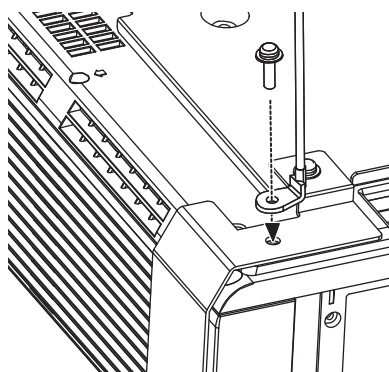
上図は天つり金具
ET-PKF100Hの使用例



上図は天つり金具
ET-PKF100Sの使用例

3) ワイヤーロープ先端の金具を付属の取り付けねじで固定する

- ねじの締め付けトルク： $1.25 \pm 0.2 \text{ N} \cdot \text{m}$



対応信号リスト

本機が投写できる映像信号は下表の通りです。

フォーマット：■ V：ビデオ ■ S：Sビデオ ■ D：DVI ■ C：コンピューター ■ Y：YPBPR

対応信号	解像度 (ドット) *1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質 *2	プラグアンドプレイ対応			フォーマット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			RGB2	DVI-D EID11	DVI-D EID12	
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	-	A				V/S
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	-	A				C/Y
525i (480i)	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	A				
625i (576i)	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	A				
525p (480p)	720 x 483	31.5	59.9	27.0	A		○		D/C/Y
625P (576p)	720 x 576	31.3	50.0	27.0	A		○		
1 125 (1 080)/60i	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	A		○		
1 125 (1 080)/50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	A		○		C
1 125 (1 080)/60p	1 920 x 1 080	66.6	59.9	138.5	A				
1 125 (1 080)/50p	1 920 x 1 080	55.6	49.9	141.5	A				
1 125 (1 080)/60p	1 920 x 1 080p	67.5	60.0	148.5	A		○		D/C/Y
1 125 (1 080)/50p	1 920 x 1 080p	56.3	50.0	148.5	A		○		
750 (720)/60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	AA		○		
750 (720)/50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	AA		○		C
VESA	640 x 400	31.5	70.1	25.2	A				
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	A				D/C
VGA	640 x 480	31.5	59.9	25.2	A	○		○	
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	A	○			C
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	A	○			
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	A	○			
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	A				D/C
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	A	○		○	
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	A	○			
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	A	○			
	800 x 600	46.9	75.0	49.5	A	○			C
	800 x 600	53.7	85.1	56.3	A				
MAC	832 x 624	49.7	74.6	57.3	A	○			D/C
XGA	1 024 x 768	39.6	50.1	51.9	A	○		○	
	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	A	○		○	
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	A	○		○	
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	A	○		○	
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	A				C
MXGA	1 152 x 864	64.0	71.2	94.2	A	○			
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	A				
	1 152 x 864	76.7	85.0	121.5	A				C
MAC	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	A	○			
MSXGA	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	A	○			D/C
SXGA	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	A			○	
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	A	○			
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	B				C
SXGA60+	1 400 x 1 050	64.0	60.0	108.0	A				
	1 400 x 1 050	65.1	59.9	122.4	A	○		○	D/C
UXGA	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	B	○			
WIDE750 (720)	1 280 x 720	44.8	59.9	74.5	AA	○			C
	1 280 x 720	37.1	49.8	60.5	AA				
WXGA768 *3	1 280 x 768	39.6	49.9	65.3	AA				D/C
	1 280 x 768	47.8	59.9	79.5	AA	○		○	
	1 280 x 800	41.3	50.0	68.0	AA				C
WXGA800 *3	1 280 x 800	49.1	60.2	69.1	AA				
	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	AA	○		○	
WXGA+	1 440 x 900	55.9	59.9	106.5	A	○			C
WSXGA+	1 680 x 1 050	65.3	60.0	146.3	A	○			
WUXGA	1 920 x 1 200	74.6	59.9	154.0	B				

*1 解像度の後ろの "i" は、インターレース信号を示しています。

*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA：最高の画質で投写できます。

A：画像処理回路で変換を行い投写します。

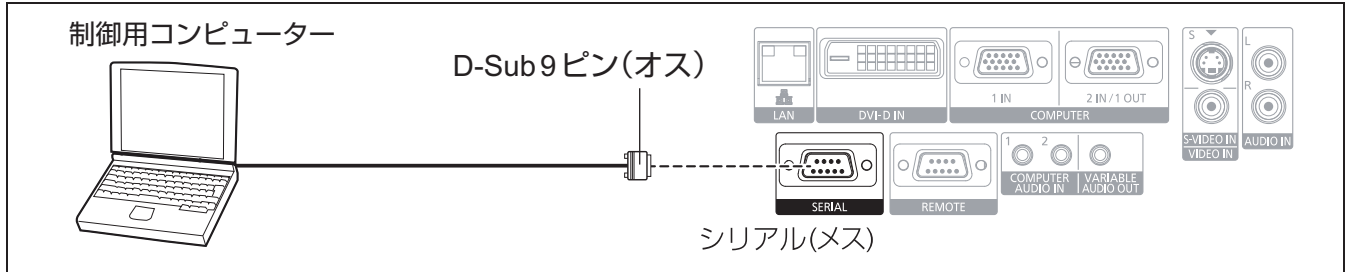
B：画像処理回路で画素を間引いて投写します。

*3 16：10 スクリーン時は WXGA 800、16：9 スクリーン時は WXGA 768 が最適な信号です。

シリアル端子について

本機接続端子部のシリアル端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御することができます。

■ 接続



■ ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン (外側から見た図)	ピン NO.	信号名	内容
	①	—	NC (何も接続されていません)
	②	TXD	送信データ
	③	RXD	受信データ
	④	—	NC (何も接続されていません)
	⑤	GND	グラウンド
	⑥	—	NC (何も接続されていません)
	⑦	RTS	内部で接続されています
	⑧	CTS	
	⑨	—	NC (何も接続されていません)

■ 通信条件

信号レベル	RS-232C 準拠	キャラクター長	8 ビット
同期方式	調歩同期	ストップビット	1 ビット
ボーレート	9 600 bps	X パラメーター	なし
パリティ	なし	S パラメーター	なし

■ 基本フォーマット

<table border="1"> <tr> <td>STX</td> <td>コマンド</td> <td>:</td> <td>パラメーター</td> <td>ETX</td> </tr> <tr> <td>スタート (02 h)</td> <td>3 byte</td> <td>1 byte</td> <td>1 byte ~ 4 byte</td> <td>エンド (03 h)</td> </tr> </table>	STX	コマンド	:	パラメーター	ETX	スタート (02 h)	3 byte	1 byte	1 byte ~ 4 byte	エンド (03 h)	<p>コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。 パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。</p>
STX	コマンド	:	パラメーター	ETX							
スタート (02 h)	3 byte	1 byte	1 byte ~ 4 byte	エンド (03 h)							

お願い:

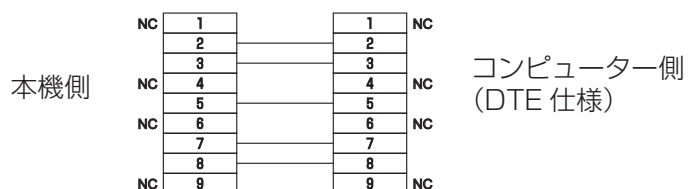
- ランプ点灯開始後、約 10 秒間はコマンドを受信できません。必ず 10 秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ:

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがコンピューター側に送信されます。

■ ケーブル仕様

<コンピューターと接続する場合>



■ 制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

<操作コマンド>

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ● ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ● ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約 30 秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000 (調整値 0) ~ 063 (調整値 63)
IIS	入力信号 切り換え	パラメーター VID = ビデオ SVD = S ビデオ RG1 = コンピューター 1 RG2 = コンピューター 2 DVI = DVI NWP = ネットワーク
Q\$\$	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中
OSH	AV ミュート機能	映像と音声を一時的に消します。 コマンドを送信するごとに ON/OFF が切り換わります。(☞ 25 ページ) 短時間での ON/OFF の切り換えは行わないでください。

リモート端子について

本機接続端子部のリモート端子を使用することで、リモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本機を遠隔操作することができます。

■ ピン配列と信号名

D-Sub9 ピン (外側から見た図)	ピン NO.	信号名	内容
	①	GND	グラウンド
	②	POWER	電源 ON
	③	INPUT SEL3	入力信号選択 3
	④	—	NC (何も接続されていません)
	⑤	INPUT SEL1	入力信号選択 1
	⑥	INPUT SEL2	入力信号選択 2
	⑦	—	内部で接続されています
	⑧	—	
	⑨	ENABLE	接点制御

お願い:

- 制御を行う場合は、必ず ①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。

■ ランプ点灯 / 消灯

ピン NO.	設定	
②-①	短絡	開放
動作	点灯	消灯 (スタンバイ)

■ 入力信号切り換え

ピン NO.	設定					
③-①	開放	開放	開放	短絡	短絡	開放
⑤-①	開放	短絡	開放	開放	短絡	短絡
⑥-①	開放	開放	短絡	開放	開放	短絡
入力信号	COMPUTER 1	COMPUTER2	DVI-D	VIDEO	S-VIDEO	NETWORK

お知らせ:

- ①番、⑨番ピンを短絡させると、本体操作部とリモコンの電源ボタン、入力切換ボタンが使用できなくなります。また、これらのボタンに相当する、RS-232C 用コマンドも使用できなくなります。
- ⑨番ピンを開放したまま、①番、②番、③番、⑤番、⑥番ピンを短絡させないでください。この設定を行うと、本機はリモコンからの信号を一切受け付けなくなります。

DVI-D 端子について

■ ピン配列と信号名

外側から見た図	ピン NO.	信号名	ピン NO.	信号名
	①	T.M.D.S データ 2-	⑬	—
	②	T.M.D.S データ 2+	⑭	+5V
	③	T.M.D.S データ 2/4 シールド	⑮	GND
	④	—	⑯	ホットプラグ検出
	⑤	—	⑰	T.M.D.S データ 0-
	⑥	DDC クロック	⑱	T.M.D.S データ 0+
	⑦	DDC データ	⑲	T.M.D.S データ 0/5 シールド
	⑧	—	⑳	—
	⑨	T.M.D.S データ 1-	㉑	—
	⑩	T.M.D.S データ 1+	㉒	T.M.D.S クロック シールド
	⑪	T.M.D.S データ 1/3 シールド	㉓	T.M.D.S クロック +
	⑫	—	㉔	T.M.D.S クロック -

2 画面表示組合わせ一覧表

入力 A \ 入力 B	コンピューター 1 静止画	コンピューター 1 動画	コンピューター 2 静止画	コンピューター 2 動画	ビデオ	S ビデオ	DVI 静止画	DVI 動画	ネット ワーク
コンピューター 1 静止画	×	×	○	○	○	○	○	○	○
コンピューター 1 動画	×	×	○	×	×	×	○	×	○
コンピューター 2 静止画	○	○	×	×	○	○	○	○	○
コンピューター 2 動画	○	×	×	×	×	×	○	×	○
ビデオ	○	×	○	×	×	×	○	×	○
S ビデオ	○	×	○	×	×	×	○	×	○
DVI 静止画	○	○	○	○	○	○	×	×	○
DVI 動画	○	×	○	×	×	×	×	×	○
ネットワーク	○	○	○	○	○	○	○	○	×

×：表示できない組合わせ

「動画」として扱う信号：525i,625i,525p,625p,1080i/60,1080i/50,1080p/60,
1080p/50,720p/60,720p/50,NTSC,PAL,SECAM

メニューロックパスワードについて

パスワードを初期設定に戻すには、お買い求めの販売店にご相談ください。

投写画面サイズ (アスペクト 16 : 9 の場合)

投写画面サイズ (アスペクト 16 : 9 の場合)			投写距離 (L)	
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
33 インチ (0.84 m)	0.41 m	0.73 m	—	1.9 m
40 インチ (1.02 m)	0.50 m	0.89 m	1.2 m	2.3 m
50 インチ (1.27 m)	0.62 m	1.11 m	1.5 m	2.9 m
60 インチ (1.52 m)	0.75 m	1.33 m	1.7 m	3.5 m
70 インチ (1.78 m)	0.87 m	1.55 m	2.0 m	4.1 m
80 インチ (2.03 m)	1.00 m	1.77 m	2.3 m	4.7 m
90 インチ (2.29 m)	1.12 m	1.99 m	2.6 m	5.3 m
100 インチ (2.54 m)	1.25 m	2.21 m	2.9 m	5.9 m
120 インチ (3.05 m)	1.49 m	2.66 m	3.5 m	7.1 m
150 インチ (3.81 m)	1.87 m	3.32 m	4.4 m	8.8 m
200 インチ (5.08 m)	2.49 m	4.43 m	5.9 m	11.8 m
250 インチ (6.35 m)	3.11 m	5.53 m	7.4 m	14.7 m
300 インチ (7.62 m)	3.74 m	6.64 m	8.9 m	17.7 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD (インチ) から下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とすると、

$$\text{投写画面サイズ 高さ (SH)} = \text{SD} \times 0.0125$$

$$\text{投写画面サイズ 幅 (SW)} = \text{SD} \times 0.0221$$

$$\text{最短投写距離 (LW)} = 0.0297 \times \text{SD} - 0.045$$

$$\text{最長投写距離 (LT)} = 0.0592 \times \text{SD} - 0.061$$

投写画像サイズ (アスペクト 4 : 3 の場合)

投写画面サイズ (アスペクト 4 : 3 の場合)			投写距離 (L)	
対角 (SD)	高さ (SH)	幅 (SW)	最短投写距離 (LW)	最長投写距離 (LT)
33 インチ (0.84 m)	0.50 m	0.67 m	—	2.1 m
40 インチ (1.02 m)	0.61 m	0.81 m	1.3 m	2.6 m
50 インチ (1.27 m)	0.76 m	1.02 m	1.6 m	3.2 m
60 インチ (1.52 m)	0.91 m	1.22 m	1.9 m	3.9 m
70 インチ (1.78 m)	1.07 m	1.42 m	2.3 m	4.5 m
80 インチ (2.03 m)	1.22 m	1.63 m	2.6 m	5.2 m
90 インチ (2.29 m)	1.37 m	1.83 m	2.9 m	5.8 m
100 インチ (2.54 m)	1.52 m	2.03 m	3.2 m	6.5 m
120 インチ (3.05 m)	1.83 m	2.44 m	3.9 m	7.8 m
150 インチ (3.81 m)	2.29 m	3.05 m	4.9 m	9.8 m
200 インチ (5.08 m)	3.05 m	4.06 m	6.5 m	13.0 m
250 インチ (6.35 m)	3.81 m	5.08 m	8.2 m	16.3 m
300 インチ (7.62 m)	4.57 m	6.10 m	9.8 m	19.5 m

上記の表以外の投写寸法を、投写画面サイズ SD (インチ) から下記の計算式で求めることができます。計算結果の単位はすべて m です。(下記の計算式で求められる値は若干の誤差があります。)

投写画面サイズを SD とすると、

$$\text{投写画面サイズ 高さ (SH)} = \text{SD} \times 0.0152$$

$$\text{投写画面サイズ 幅 (SW)} = \text{SD} \times 0.0203$$

$$\text{最短投写距離 (LW)} = 0.0339 \times \text{SD} - 0.052$$

$$\text{最長投写距離 (LT)} = 0.0653 \times \text{SD} - 0.052$$

仕様

本機の仕様は下表の通りです。

使用電源		AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力		350 W (スタンバイ時 約 3.0 W ただし、ファン停止時) ※ 1
液晶パネル	パネルサイズ	0.74 型 LCD (アスペクト比 16 : 10)
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式
	駆動方式	アクティブマトリクス方式
	画素数	1 024 000 画素 (1280 × 800 ドット) × 3 枚
レンズ		マニュアルズーム (2 倍) ・フォーカス F 1.7 ~ 2.6、f 21.6 mm ~ 43.0 mm
光源ランプ		250 W UHM ランプ
光出力		3 500 lm ※ 2
※ 3	水平走査周波数	15 kHz ~ 91 kHz
対応走査周波数 (RGB 信号時)	垂直走査周波数	50 Hz ~ 85 Hz
	ドットクロック周波数	150 MHz 以下
コンポーネント (YPbPr) 信号		525i (480i)、525p (480p)、625i (576i)、625p (576p)、 750 (720)/60p、750 (720)/50p、1 125 (1 080)/60i、 1 125 (1 080)/50i、1 125 (1 080)/60p、1 125 (1 080)/50p
カラー方式		7 方式 (NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-M/PAL-N/PAL60/SECAM)
投写画面サイズ		33 型 ~ 300 型
投写距離		1.1 m ~ 19.5 m
画面アスペクト比		16 : 10
投写方式		フロント / 床置き、フロント / 天つり、リア / 床置き、リア / 天つり (メニュー設定方式)
スピーカー		4 cm 円型 1 個
音声実用最大出力		5 W
接続端子	ビデオ入力端子	● S ビデオ : 1 系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω ● 映像 : 1 系統 RCA ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	コンピューター (RGB) 入力端子	1 入力端子 1 系統高密度 D-sub 15p (メス) ● R、G、B : 0.7 V [p-p] 75 Ω ● HD・VD/SYNC : TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応
		2 入力 / 1 出力端子 1 系統高密度 D-sub 15p (メス) ● R、G、B : 0.7 V [p-p] 75 Ω
		● YPbPr YCbCr 入力 / 出力時 Y : 1.0 V [p-p] (同期信号を含む) 75 Ω Pb/Cb、Pr/Cr : 0.7 V [p-p] 75 Ω
		● HD・VD/SYNC : TTL ハイインピーダンス正 / 負極性自動対応
	DVI-D 入力端子	1 系統 DVI-D 24 ピン DVI 1.0 準拠 HDCP 対応 (シングルリンクのみ対応)
	音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック × 2 (L-R) 0.5V[rms] 2 系統 M3 ジャック (ステレオミニピンジャック) 0.5V[rms]
	音声出力端子	1 系統 M3 ジャック (ステレオミニピンジャック) (モニター出力、ステレオ対応可) 0V[rms] ~ 2.0V[rms] (可変)
シリアル端子	D-Sub 9 ピン RS-232C 準拠 (コンピューター制御用)	
リモート端子	D-Sub 9 ピン 遠隔制御用	
LAN 端子 (RJ-45)	1 系統 ネットワーク接続用 10Base-T/100Base-TX	

※ 1) 「ネットワーク」スタンバイ状態 : 約 25W

「音声設定」スタンバイ状態 : 約 35W (最大音声出力)
全てのスタンバイ条件を「オン」にしても最大約 35W

※ 2) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。

※ 3) 本機が投写できる映像信号について、詳しくは対応信号リストをご覧ください。(P53 ページ)

無線 LAN ※ 4	準拠規格	IEEE802.11b/IEEE802.11g (無線 LAN 標準プロトコル)
	使用無線チャンネル	IEEE802.11b/IEEE802.11g : 1 ~ 13 チャンネル
	通信距離	30 m (ただし、使用環境により異なります)
電源コードの長さ		2.0 m
キャビネット		樹脂成型品 (PC+ABS)
外形寸法		● 横幅 432 mm ● 高さ 128.5 mm ● 奥行 323 mm
質量		約 6.2 kg (※ 5)
使用環境条件		● 使用周囲温度 0 °C ~ 40 °C [ただし、「高地モード」(P.41 ページ) を「オン」に設定している場合は、0 °C ~ 35 °C] ● 使用周囲湿度 20 % ~ 80 % (結露のないこと)
< リモコン >	使用電源	DC 3 V (単 3 形乾電池 2 個)
	操作距離	約 15 m (受信部正面)
	質量	約 117 g (乾電池含む)
	外形寸法	● 横幅 48 mm ● 高さ 163 mm ● 厚さ 24.5 mm
	レーザー	● クラス 2 レーザー製品 JIS C 6802(1998) 最大出力 : 1mW 波長 : 650nm
< オプション >	天つり金具	ET-PKF100H (高天井用)、ET-PKF100S (低天井用)

※ 4) PT-FW300NT のみ

※ 5) 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

- この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

商標について

- オンスクリーンメニューに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。
- PJ Link は、日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
 よくお読みのと保管してください。

■保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。ただし光源ランプは 6 ヶ月または 600 時間の早い方。

■修理を依頼される時

「修理を依頼される前に」（P51 ページ）の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読み
 のうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理させていただきます。
 ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼される時ご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番・お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	46 ページのモニター部の内容も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪問希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

パナソニックプロジェクターサポートセンター

ワイヤレスの設定や操作でご不明なことがございましたら
 なんなりとお問い合わせください。

お電話の方はこちら **0120-872601** 受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
 9：00～12：00 13：00～17：00

URL:<http://panasonic.biz/projector/>

※書面や電話/FAXでお答えする場合や、返事を差しあげるお時間を頂くこともございます。
 ※お電話の際には、番号をお確かめの上、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

用語について

取扱説明書内の用語について説明します。

NTSC	National TV Standards Committee の略。 日本や米国などで利用されている、ビデオ・テレビの信号方式。 (走査線 525 本、30 インターレースフレーム / 秒)
PAL	Phase Alternating Line の略。 ヨーロッパや中国などで利用されているビデオ・テレビの信号方式。 (走査線 625 本、25 インターレースフレーム / 秒)
RGB	Red(赤)、Green(緑)、Blue(青)の光の3原色。 プロジェクターやモニター、カラーテレビなどでは、この3つの色を混ぜ合わせることで色調を表現する。
SECAM	Sequentiel Couleur avec Memoire (仏語) の略。 フランス、ロシア、東欧、中東、アフリカなどで利用されているビデオ・テレビの信号方式。(走査線 625 本、25 インターレースフレーム / 秒)
アクティブマトリクス方式	液晶パネルの駆動方式のひとつ。画素の1つ1つに対応するアクティブ素子を追加しているため、クリアで応答速度が速い。
オーバースキャン	テレビ画面などで入力された信号の外周部を切り落として表示すること。
コンポーネントビデオ信号 (YPbPr)	Sビデオ信号よりさらに高画質化を図った信号で、色どうしの干渉を避けるため輝度信号と色信号を分離し、Yは輝度、Pb (Cb) は青系、Pr (Cr) は赤系に分けて送る色差方式の信号。
シリアル端子	プロジェクターとコンピューターを接続して、コンピューターで制御することができるシリアル通信用の端子。 ほとんどのコンピューターに標準で搭載されている。 本機は RS-232C (Recommended Standard 232 version C の略) に準拠。
台形ひずみ	スクリーンに映像を投写する際に、プロジェクターがスクリーンに対して上下や左右に傾いていると、映像が台形の形にひずんで投写されること。

さくいん

数字

2画面ボタン 12

A

ACF ユニット収納部 14, 48

ACF ユニット交換 48

AC 入力端子 14, 21

AV ミュートボタン 12, 25

C

COMPUTER 2入出力選択 40

D

DVI-D IN 37

DVI-D 入力端子 14, 20, 56

L

LAN 端子 14, 19

O

OSD デザイン 37

R

RGB/YPBPR 33

RS-232C 54

S

SXGA モード 39

S ビデオ / ビデオ映像入力端子 14

S ビデオ / ビデオ入力端子 20

S ビデオ / ビデオ用音声入力端子 14

T

TV システム 33

あ

明るさ 32

アジャスター脚 14, 16, 24

アスペクト 35

アフターサービス 60

い

位置調整 31, 34

色あい 32

色温度設定 32

色の濃さ 32

インデックスウィンドウボタン 12, 26

え

映像調整 30, 32

映像モード 32

エミュレート 41

お

オーバースキャン 34

お手入れ 47

オンスクリーン表示 37

オンスクリーンメニュー 30

音声設定 42

音声入力端子 14

温度モニター 13, 46

音量 42

音量ボタン 12, 26

か

外形寸法図 64

き

起動方法 40

く

クロックフェーズ 26, 34

こ

工場出荷時の状態に戻す 29

高地モード 8, 11, 41

コントラスト 32

コンピューターボタン 25

コンピューター1 入力端子 14, 19

コンピューター1・2用音声入力端子 14, 19

コンピューター2入力 / 1出力端子 14, 19

さ

サブメニュー 30

し

自動位置補正 39

自動位置補正ボタン 12, 26

シフト 34

シフト垂直 34

シフトレバー 13, 17

シャープネス 32

修理を依頼される前に 51

主電源スイッチ 14, 21

仕様 58

照度センサー 13

シリアル端子 14, 54

す

ズームレバー 13, 24

スクリーン設定 38

スタートアップロゴ 38

ステータス 40

スピーカー 13

せ

静止ボタン 12, 25

セキュリティ 31, 43

接続端子部 14

設置方法 16, 40

全設定初期化 42

そ

操作設定 44

その他の機能 39

た

対応信号リスト 53

台形補正 34

ダイレクトパワーオフ機能 21

て

デイライトビュー 33

テキスト設定 43

テキスト変更 43

デジタルシネマリアリティ 33

デジタルズームボタン 12, 27

テストパターン 42

デフォルトボタン 12, 26, 29

電源コード 21

電源ボタン

本体 13

リモコン 12

電源モニター 13, 22

電源を入れる / 切る 21

電池の入れかた 12

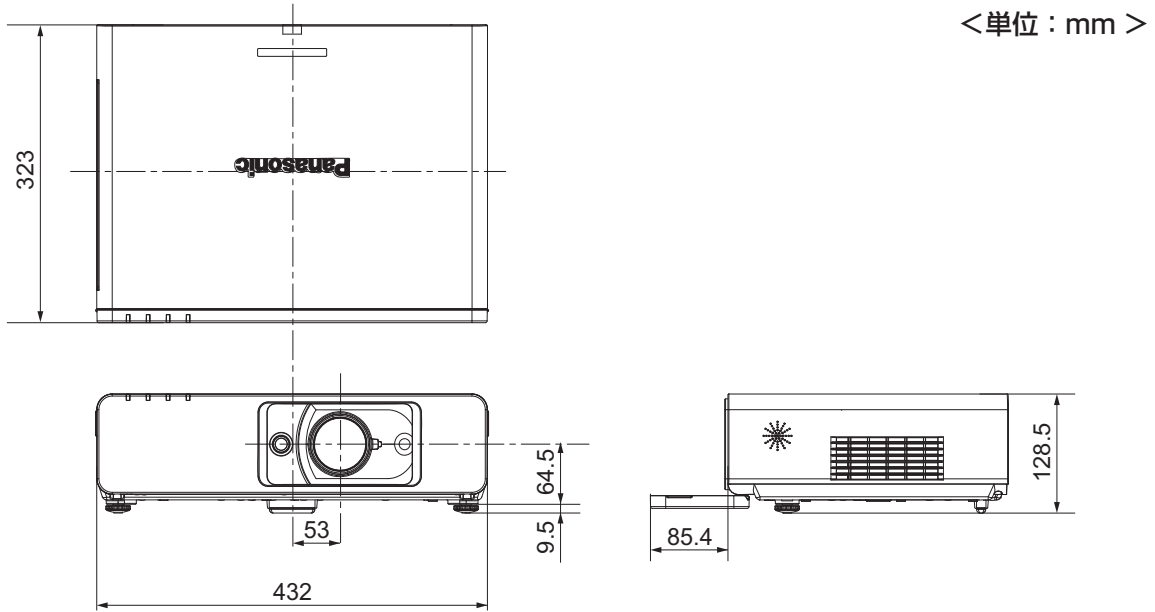
天つり金具取り付け時の注意事項 52

と

と写 24

投写画面サイズ	15	メニュー画面の操作方法	29
投写方式	16	メニューボタン	30
投写レンズ	13	本体	13
ドットクロック	34	リモコン	12
に		メニューロック	44
2画面ボタン	27	メニューロックパスワード	44
入力ガイド	37	ら	
入力切替ボタン	25	ランプ交換	49
本体	13	ランプモニター	13, 46
リモコン	12	ランプユニット収納部	14
入力検出	39	り	
ね		リモート入力端子	14, 55
ネットワーク	31, 45	リモコン	12
コンピューター検索	45	リモコン受信部	13
初期化	45	リモコン発信部	12
ステータス	45	れ	
ネットワークコントロール	45	レーザーボタン	12, 28
ネットワークスタンバイ	45	レーザー光発射口	12
パスワード設定	45	レンズシフト機能	17
パスワード変更	45	わ	
プロジェクター名変更	45	ワイドモード	39
マルチライブ	45		
無線 LAN	45		
有線 LAN	45		
ライブモード割り込み	45		
ネットワークボタン	25		
の			
ノイズリダクション	33		
は			
パスワード設定	43		
パスワード変更	43		
バックカラー	39		
バランス	42		
ひ			
ビデオボタン	25		
表示オプション	31, 37		
表示言語	31, 36		
ふ			
ファンクションボタン	12, 28, 41		
フィルター残量リセット	42		
フィルターモニター	13, 47		
フォーカスレバー	13, 24		
付属品	10		
部品交換	48		
フレームロック	36		
プロジェクター設定	31, 40		
へ			
ページボタン	12		
ほ			
保証書	60		
ホワイトバランス	32		
ま			
マルチライブボタン	12		
む			
無信号自動オフ	40		
め			
メインメニュー	30		

外形寸法図



愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像がでない。
- 映像が連続してチラついたり、ユレたりする。
- 電源入時以外にジージー・パチパチと異常な音ができる。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、21ページの手順でコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。

お買い上げ日	年	月	日	品番	PT-FW300NT PT-FW300
販売店名	電話 () -				
お客様ご相談窓口	電話 () -				

パナソニック株式会社 システムAVビジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎ 0120-872-601

© Panasonic Corporation 2009

S1008-4049E